

【京都力の発揮】(1) 人づくり

① 数値目標に対する施策指標の進捗状況

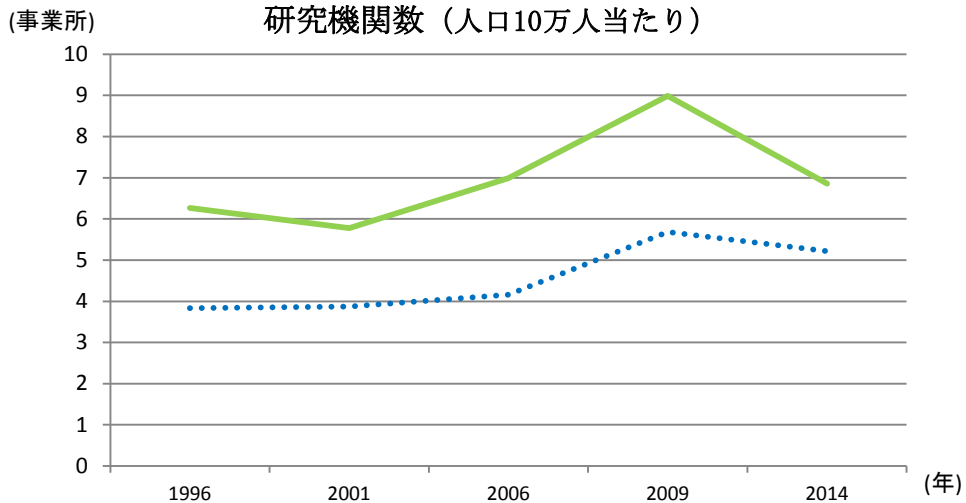
施策指標	進捗率 (%)	進捗率グラフ				
		0%	25%	50%	75%	100%
Ⅲ 京都力の発揮						
(1) 人づくり						
1 府内の留学生の数(年間)	11.2					
2 京都企業に就職した留学生の数(累計)	—					
3 ギャップイヤー活動等に参加する学生数(累計)	145.0					
4 府内大学と府との包括協定数	50.0					
5 京都学生祭典の参加学生数(年間)	—					
6 京都学生祭典の地域での交流活動回数(年間)	-72.7					
7 社会人入学者数(年度当初)	-22.3					
8 海外留学を行った府立高校の生徒数(累計)	51.8					
9 けいはんなオープンイノベーションセンターの共同研究プロジェクト数(累計)	26.0					
10 けいはんなオープンイノベーションセンターの参画研究者数(累計)	50.5					
11 関西文化学術研究都市の外国人研究者数(年度当初)	-20.0					
12 NPOへの就労をめざしたOJT研修、地域づくりに必要な講座の受講者数(累計)	57.5					

※ 基準値からの増減を目標とする指標等進捗率が表せない指標については、進捗率欄及び進捗率グラフ欄は「—」としている。

② 統計データ及び施策指標の動き

統計データ

※推移グラフ中、点線は全国を、実線は京都府を示している。

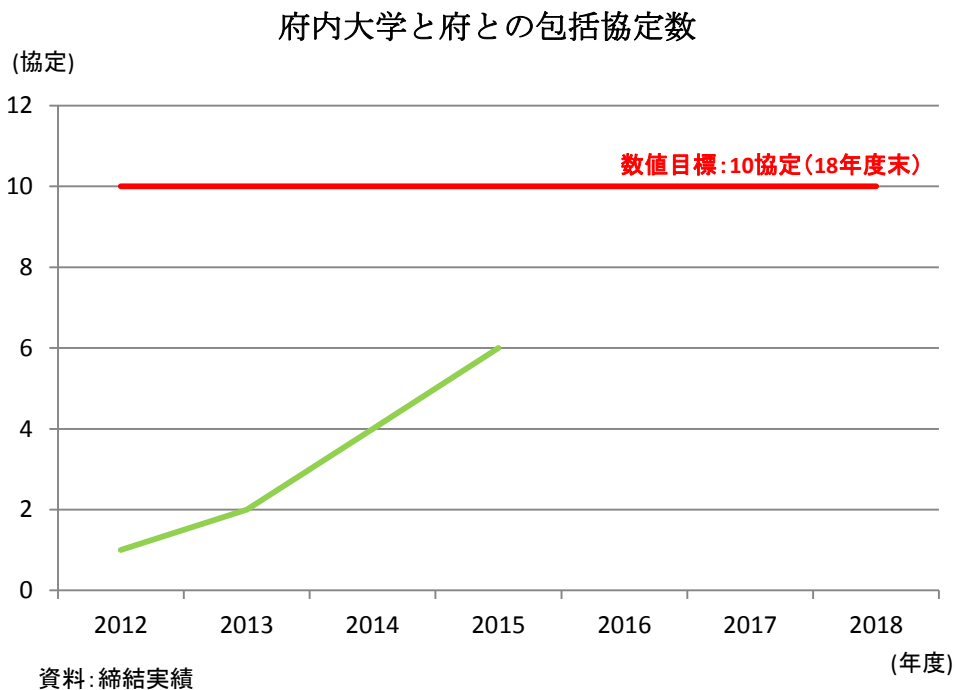
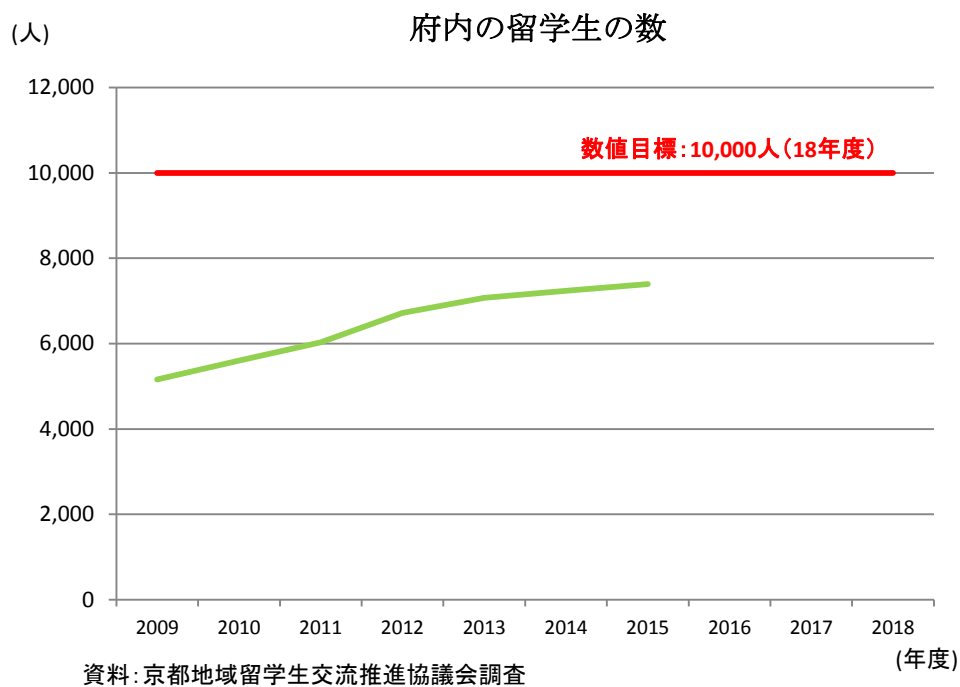


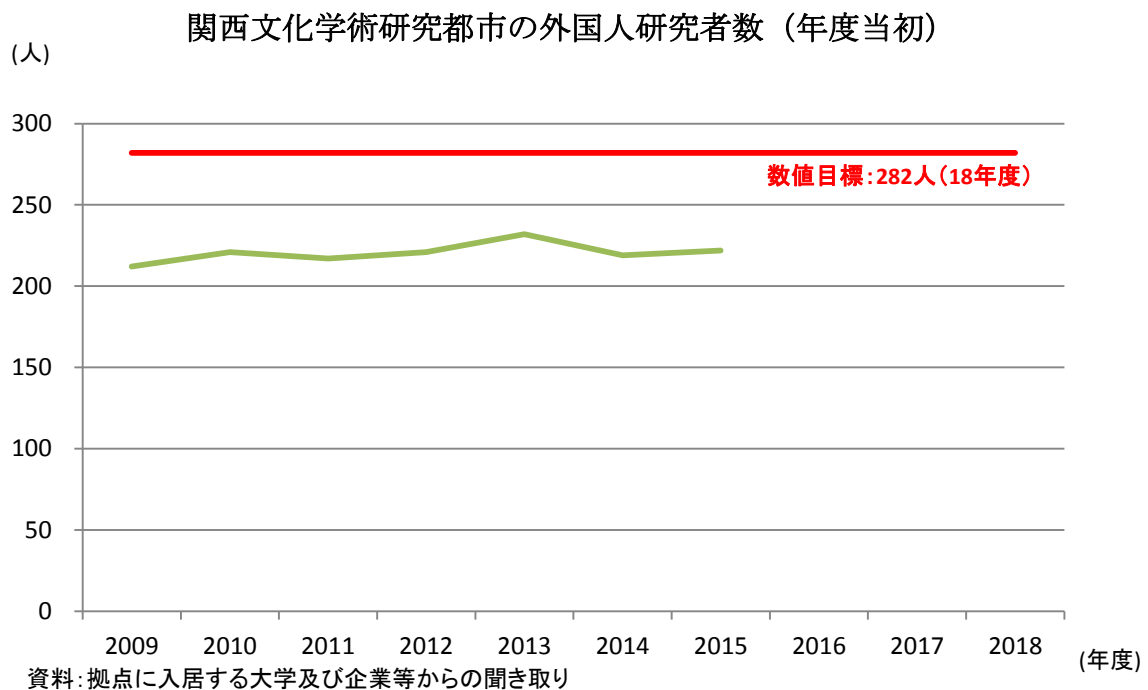
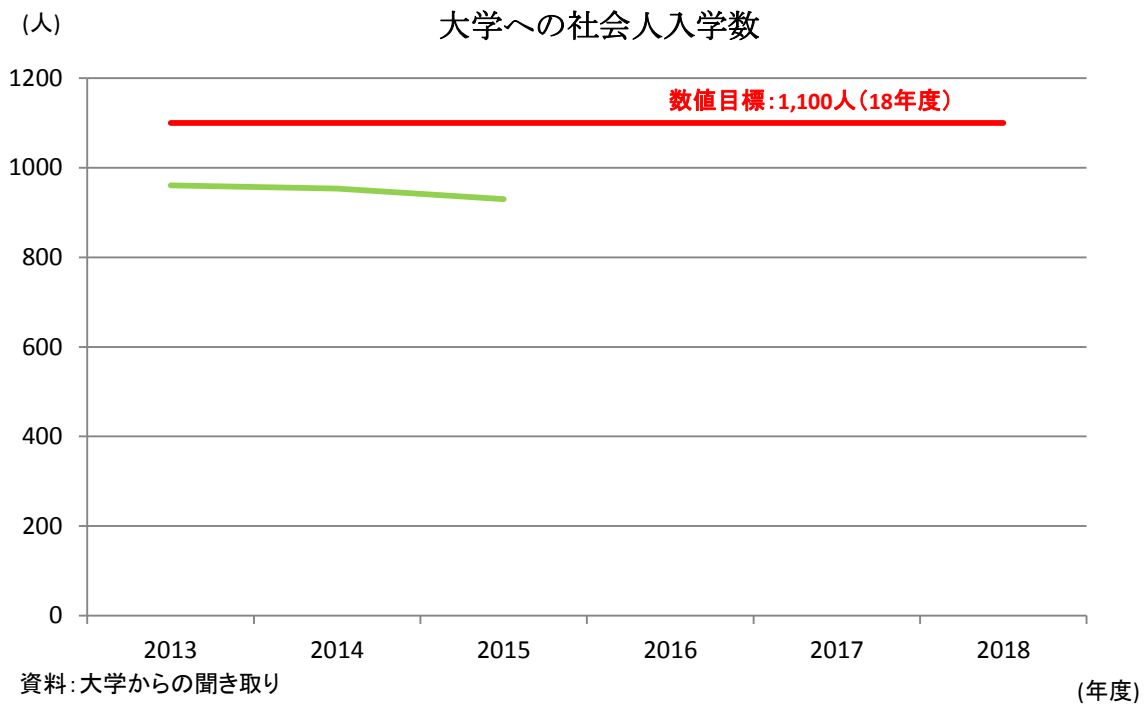
資料：2006年までは事業所・企業統計、2009年、2014年は経済センサス-基礎調査

注：経済センサスは事業所・企業統計調査(2006年まで実施)と調査の対象は同様だが、調査手法が以下の点において異なることから、2006年事業所・企業統計調査との差数が全て増加・減少を示すものではない。

- ・商業・法人登記等の行政記録の活用
- ・会社(外国の会社を除く)、会社以外の法人及び個人経営の事業所の本社等において、当該本社等の事業主が当該支所等の分も一括して報告する「本社等一括調査」の導入等によって、国においては統計表の時系列比較を行っていない。

施策指標





③ 指標・事業連関表〔Ⅲ京都力の発揮(1)人づくり〕

基本目標	指 標
全分野・事象 共通	<input checked="" type="checkbox"/> これからも京都府に住み続けたいと思う人の割合
京都で学び、活動し、京都に就職する大学生や留学生、研究者等が増えること	<input checked="" type="checkbox"/> 大学・短期大学の学生数（人口10万人当たり）
	<input checked="" type="checkbox"/> 留学生数（人口10万人当たり）
	<input type="checkbox"/> 府内の留学生の数（年間）
	<input type="checkbox"/> 京都企業に就職した留学生の数（累計） 【2014年実績】
地域に根ざした大学の活動が拡大すること	<input type="checkbox"/> ギャップイヤー活動等に参加する学生数（累計）
	<input type="checkbox"/> 府内大学と府との包括協定数
	<input type="checkbox"/> 京都学生祭典の参加学生数（年間）
	<input type="checkbox"/> 京都学生祭典の地域での交流活動回数（年間）
大学で再教育を受ける社会人等が増えること	<input type="checkbox"/> 社会人入学者数（年度当初）
世界で活躍できる人材が増えること	<input checked="" type="checkbox"/> 仕事をはじめ社会的な生活を営む上で、自分の持っている才能や知識、技量などが十分に発揮できていると思う人の割合
	<input type="checkbox"/> 海外留学を行った府立高校の生徒数（累計）
世界的に評価される研究成果が上がること	<input checked="" type="checkbox"/> 研究機関数（人口10万人当たり） 【2014年実績】
	<input type="checkbox"/> けいはんなオープンイノベーションセンターの共同研究プロジェクト数（累計）
	<input type="checkbox"/> けいはんなオープンイノベーションセンターの参画研究者数（累計）
	<input type="checkbox"/> 関西文化学術研究都市の外国人研究者数（年度当初）
地域課題の解決や地域づくりにかかわる人が増えること	<input type="checkbox"/> NPOへの就労をめざしたOJT研修、地域づくりに必要な講座の受講者数（累計）

⑳ 当初予算等における主要な事業 ※「事業仕分け・評価調書」を作成した政策的な事業を基本に掲載		
推移	水準	
↗	92	
↘	◎	京都府公立大学法人運営費交付金
↗	◎	京都府公立大学法人施設設備整備資金貸付金
↗	△	京都府名誉友好大使任命事業費
—	—	留学生総合支援事業費
↗	◎	京都学生祭典開催助成費
↗	○	1(ひと)まち1(ひと)キャンパス事業費
↗	×	
↘	×	
↘	×	
↗	53	京都次世代グローバル人材育成事業費
↗	○	
↘	○	けいはんなオープンイノベーションセンター活用推進事業費
↗	△	
↗	○	
↗	×	
↗	○	

凡例

■ 府民意識調査

推 移: ↗…前回より向上
 ↘…前回より後退
 水 準: 割合(%)

◆ 統計データ

推 移: ↗…前回より改善(前回と同値を含む)
 ↘…前回より後退
 水 準: ◎…全国順位5位以上
 ○…全国平均以上
 △…全国平均未満
 ×…全国下位5位以下

□ 施策指標

推 移: ↗…前年度実績以上
 ↘…前年度実績未満
 水 準: ◎…中期計画目標達成
 ○…参考年間目標以上
 △…参考年間目標未満かつ基準値以上
 ×…基準値未満

(共通) —…比較不能

【京都力の発揮】（２）環境の「みやこ」

① 数値目標に対する施策指標の進捗状況

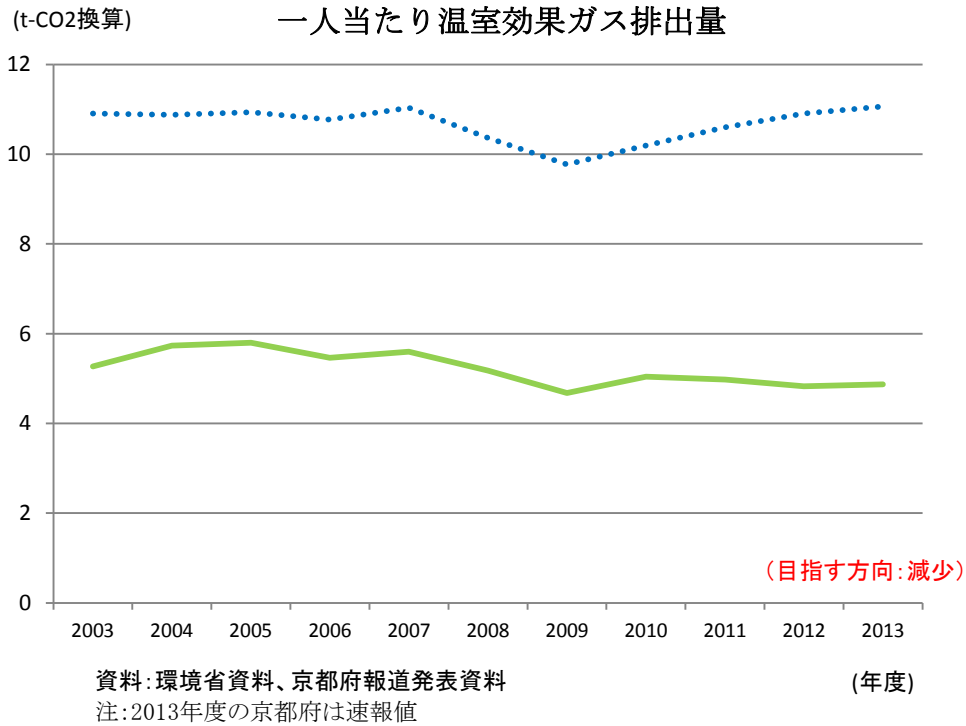
施策指標	進捗率 (%)	進捗率グラフ				
		0%	25%	50%	75%	100%
Ⅲ 京都力の発揮						
(2) 環境の「みやこ」						
1 府内の電力総使用量(年間)	209.1					
2 最大需要に対する再生可能エネルギー等の割合(太陽光、風力、小水力、バイオマス、コージェネレーション等)	97.3					
3 太陽光発電設備を導入している戸建住宅数	17.7					
4 天然ガスを利用した発電設備の発電能力	104.2					
5 府内温室効果ガス総排出量(年間)	—	—				
6 大規模排出事業者の温室効果ガス排出削減率	—	—				
7 京都版CO ₂ 排出量取引制度によるクレジット創出量(累計)	—	—				
8 EV(電気自動車)・PHV(プラグインハイブリッド自動車)の登録台数	25.0					
9 天然ガストラックの登録台数	-0.7	—				
10 「ウッドマイレージCO ₂ 」認証等製品出荷量(年間)	63.9					
11 一般廃棄物排出量(年間)	—	—				
12 リサイクル率	—	—				
13 京都府景観資産の登録件数	100.0					
14 府民、企業、団体、NPO、大学等が連携して森林づくりに取り組むモデルフォレスト運動への延べ参加者数(年間)	138.5					
15 産業廃棄物投棄量(年間)	—	—				
16 エコ親子認定者数(累計)	29.2					
17 犬・猫の譲渡頭数(年間)	9.3					
18 希少種保全団体の登録数	0.0	—				

※ 基準値からの増減を目標とする指標等進捗率が表せない指標については、進捗率欄及び進捗率グラフ欄は「—」としている。

② 統計データ及び施策指標の動き

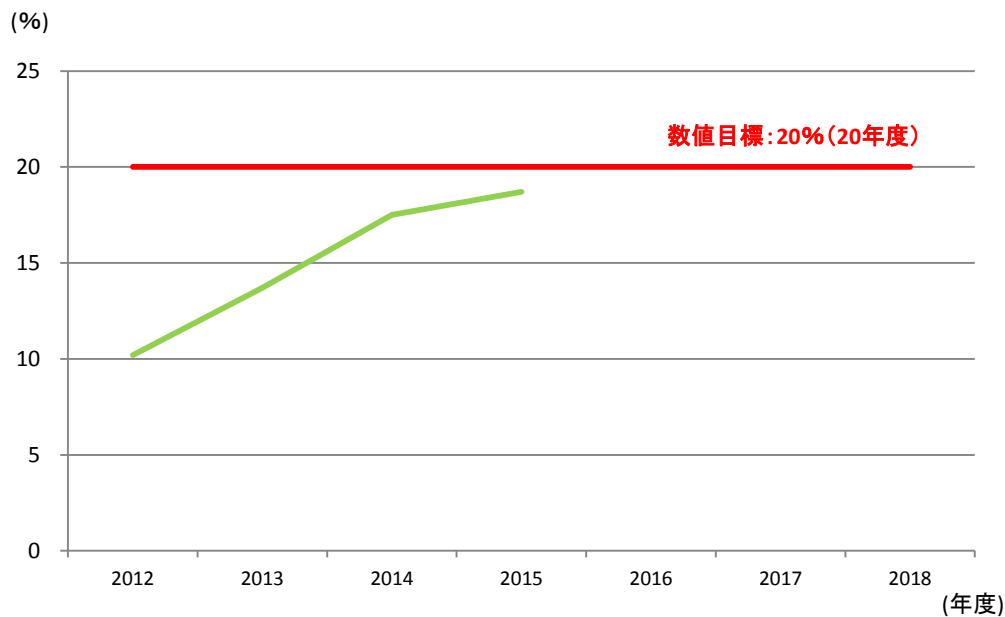
統計データ

※推移グラフ中、点線は全国を、実線は京都府を示している。

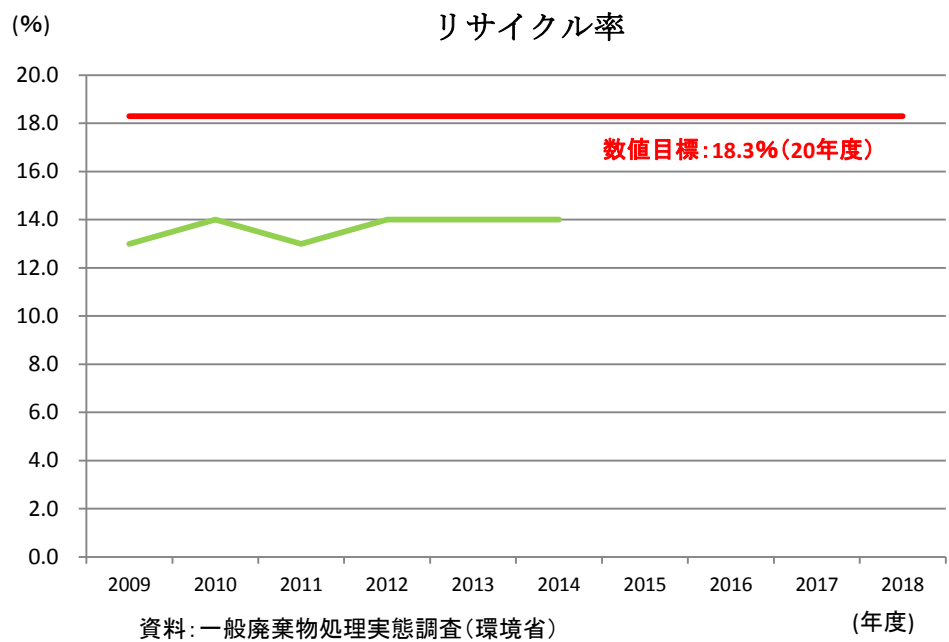
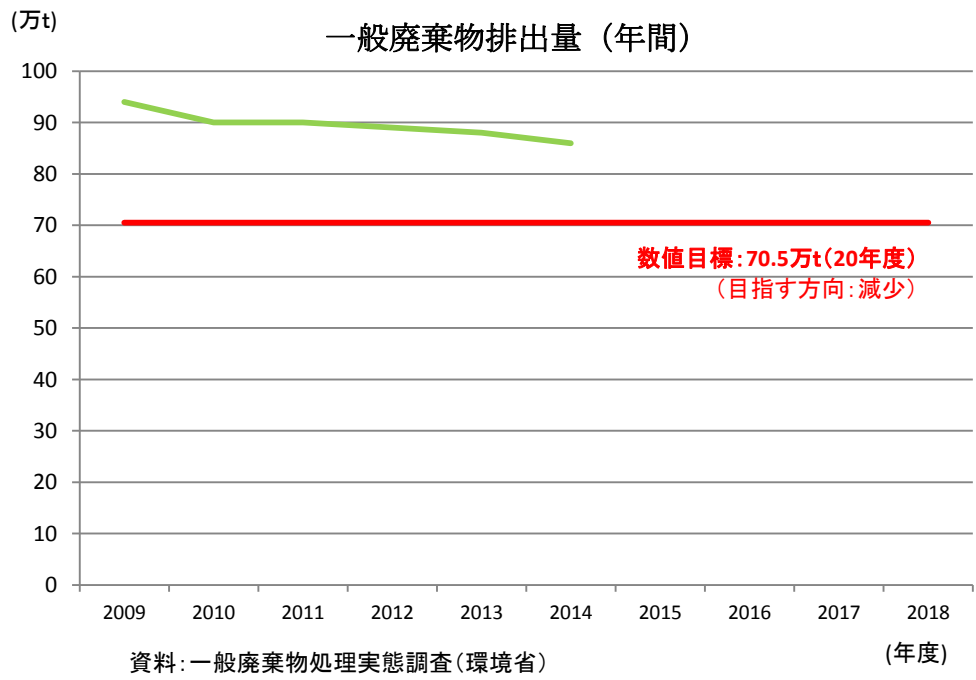


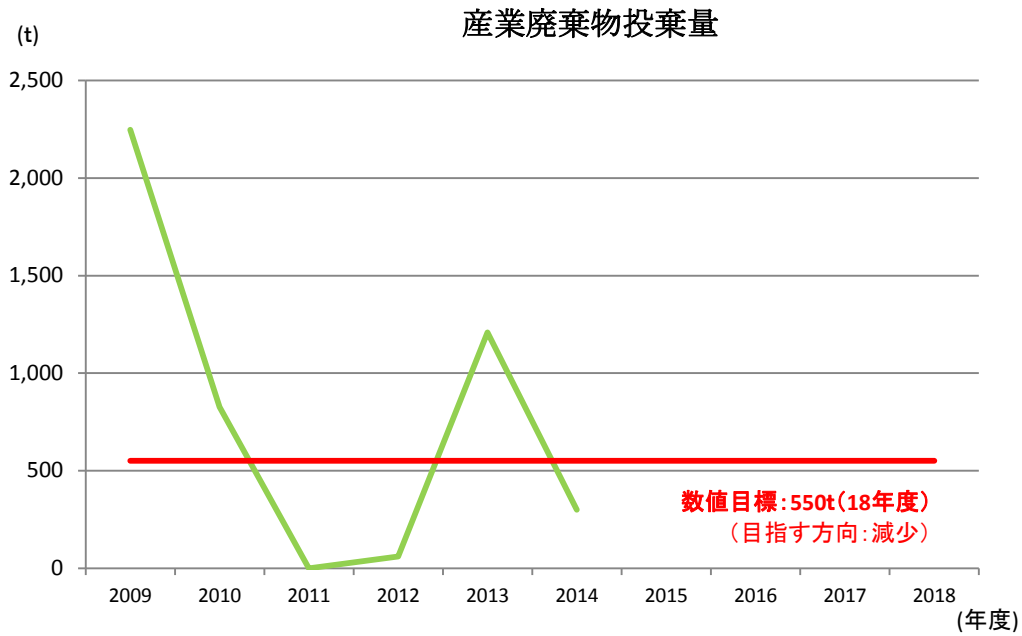
施策指標

最大需要に対する再生可能エネルギー等の割合
(太陽光、風力、小水力、バイオマス、コージェネレーション等)

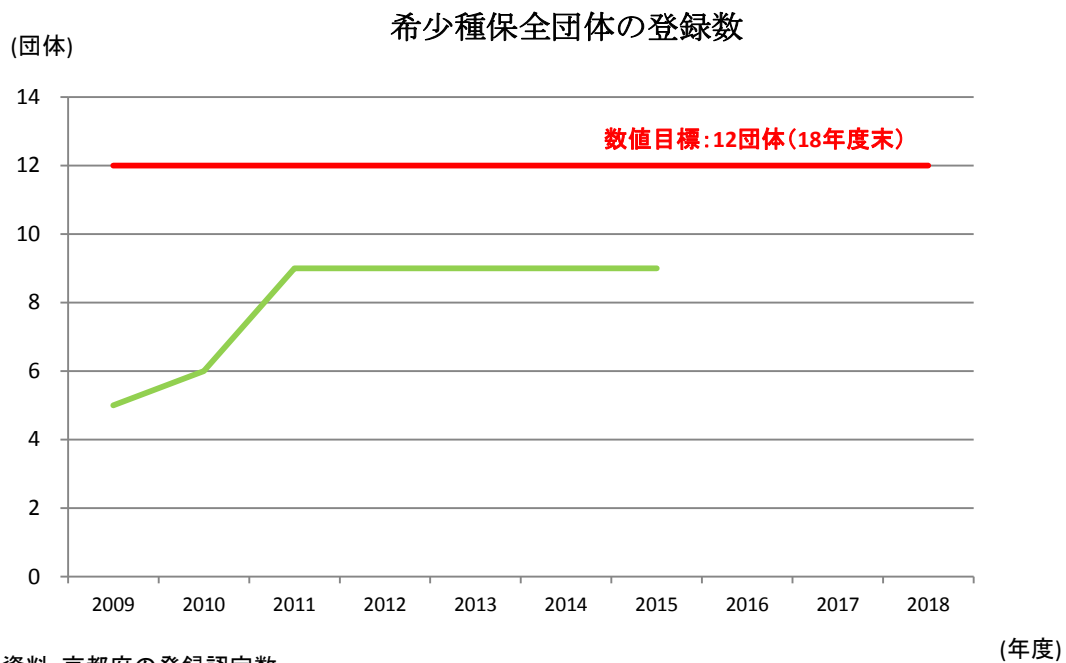


資料: 企業等からの聞き取り





資料: 産業廃棄物の不法投棄等の状況について(環境省)



資料: 京都府の登録認定数

③ 指標・事業連関表〔Ⅲ京都力の発揮(2)環境の「みやこ」〕

基本目標	指 標
全分野・事象 共通	<input checked="" type="checkbox"/> これからも京都府に住み続けたいと思う人の割合
省エネ・節電活動が拡大すること	<input checked="" type="checkbox"/> 府民総生産当たりエネルギー消費量（最終エネルギー消費量／実質府民総生産）【2013年度実績】 <input type="checkbox"/> 府内の電力総使用量（年間）
再生可能エネルギーなど多様なエネルギーが供給されること	<input type="checkbox"/> 最大需要に対する再生可能エネルギー等の割合（太陽光、風力、小水力、バイオマス、コージェネレーション等） <input type="checkbox"/> 太陽光発電設備を導入している戸建住宅数 <input type="checkbox"/> 天然ガスを利用した発電設備の発電能力
府内のCO2排出量が減少すること	<input checked="" type="checkbox"/> 一人当たり温室効果ガス排出量【2013年度実績】 <input type="checkbox"/> 府内温室効果ガス総排出量（年間）【2014年度実績】 <input type="checkbox"/> 大規模排出事業者の温室効果ガス排出削減率【2014年度実績】 <input type="checkbox"/> 京都版CO ₂ 排出量取引制度によるクレジット創出量（累計）【2014年度実績】 <input type="checkbox"/> EV（電気自動車）・PHV（プラグインハイブリッド自動車）の登録台数 <input type="checkbox"/> 天然ガストラックの登録台数 <input type="checkbox"/> 「ウッドマイレージCO ₂ 」認証等製品出荷量（年間）
リユースやリサイクルをはじめとした資源循環のしくみが確立されること	<input type="checkbox"/> 一般廃棄物排出量（年間）【2014年度実績】 <input type="checkbox"/> リサイクル率 【2014年度実績】
優れた景観や良好な生活環境の保全・創出が進展すること	<input checked="" type="checkbox"/> 住んでいる地域（市町村）が優れたまちなみや景観、自然環境に恵まれていると思う人の割合 <input type="checkbox"/> 京都府景観資産の登録件数 <input type="checkbox"/> 府民、企業、団体、NPO、大学等が連携して森林づくりに取り組むモデルフォレスト運動への延べ参加者数（年間）
廃棄物の不法投棄が抑止されること	<input type="checkbox"/> 産業廃棄物投棄量（年間）【2014年度実績】
自然環境にやさしいライフスタイルが拡大すること	<input checked="" type="checkbox"/> 節電や公共交通機関の優先利用、環境負荷の少ない商品の優先購入といったエコな暮らし方を実践している人の割合 <input type="checkbox"/> エコ親子認定者数（累計）
生物多様性が保全されること	<input type="checkbox"/> 犬・猫の譲渡頭数（年間） <input type="checkbox"/> 希少種保全団体の登録数

⑳ 当初予算等における主要な事業 ※「事業仕分け・評価調書」を作成した政策的な事業を基本に掲載		
推移	水準	
↗	92	
↘	◎	環境・エネルギー総合戦略事業費
↗	◎	(省エネ・低炭素化推進事業費)
↗	○	環境・エネルギー総合戦略事業費
↗	△	(再生可能エネルギー倍増事業費)
↗	◎	(地域エネルギー自立事業費)
		(水素エネルギー活用社会推進事業費)
		(京都舞鶴港エネルギークラスター事業費)
↘	—	京都エコ・エネルギー産業創出・普及事業費
—	—	
—	—	
↗	△	
↗	×	
↗	○	
—	—	産業廃棄物3R(スリーアール)支援センター事業費
—	—	
↗	75	海岸漂着物地域対策推進事業費
↗	◎	山陰海岸世界ジオパーク推進事業費
↗	◎	京都丹波高原国定公園(仮称)魅力発信事業費
		千年の都・鴨川清流事業費
—	—	不法投棄等防止対策事業費
—	—	
↘	65	
↗	○	
↘	△	生物多様性戦略総合対策事業費
↗	○	京都動物愛護センター共同運営事業費

凡例

■ 府民意識調査

推移: ↗…前回より向上

↘…前回より後退

水準: 割合(%)

◆ 統計データ

推移: ↗…前回より改善(前回と同値を含む)

↘…前回より後退

水準: ◎…全国順位5位以上

○…全国平均以上

△…全国平均未満

×…全国下位5位以下

□ 施策指標

推移: ↗…前年度実績以上

↘…前年度実績未満

水準: ◎…中期計画目標達成

○…参考年間目標以上

△…参考年間目標未満かつ基準値以上

×…基準値未満

(共通) —…比較不能

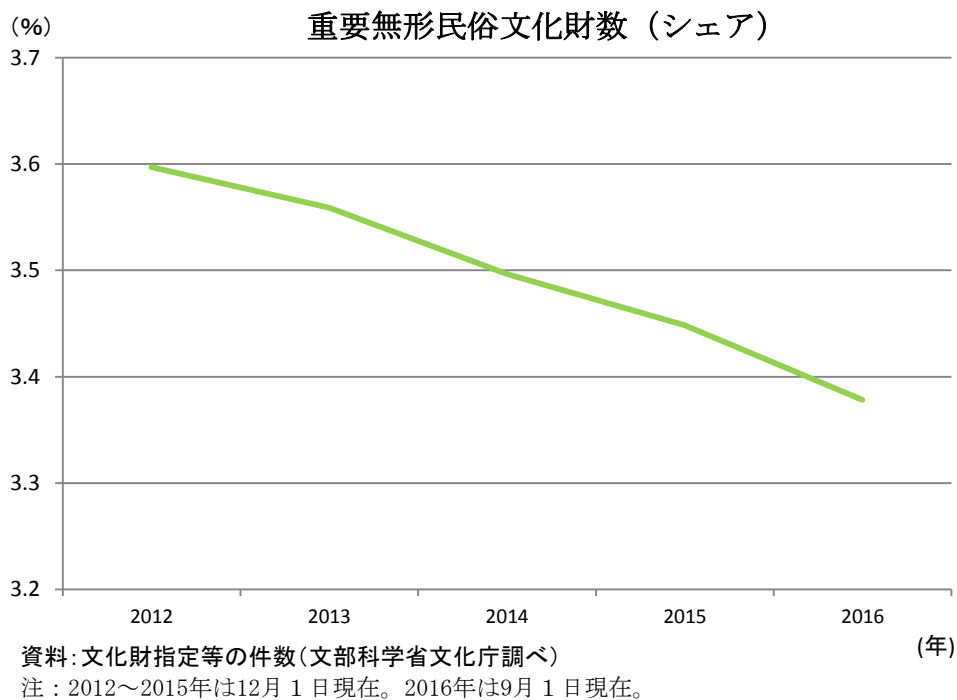
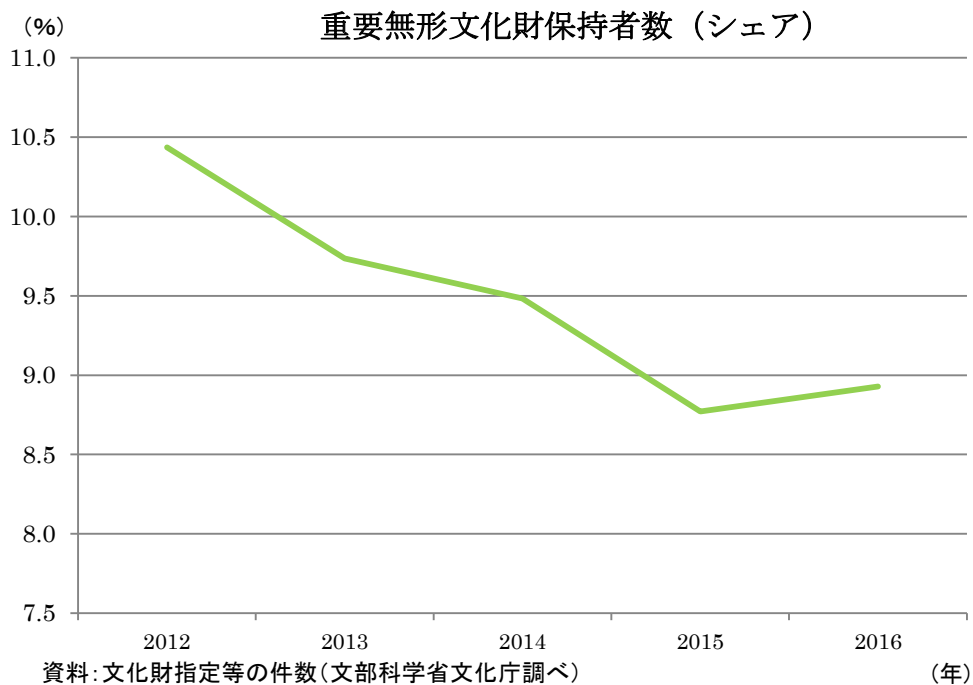
【京都力の発揮】（3）文化創造

① 数値目標に対する施策指標の進捗状況

施策指標	進捗率 (%)	進捗率グラフ				
		0%	25%	50%	75%	100%
Ⅲ 京都力の発揮						
(3) 文化創造						
1 京都文化を国内外に発信する文化イベント開催数(累計)	50.0					
2 文化財を守り伝える京都府基金の寄附額(年間)	-236.6					
3 文化財講座等の参加者数(年間)	328.3					
4 高校生伝統文化事業参加延べ生徒数	40.2					
5 高校生や大学生等のきもの体験事業の参加者数(累計)	32.8					
6 きものパスポートサポーター登録者数	50.8					
7 府立の文化施設に来場した人の数(年間)	80.1					
8 アートフリーマーケットの入場者数(年間)	-117.1					
9 京都文化ベンチャーコンペティションの応募件数(年間)	493.8					
10 国民体育大会の成績	33.3					
11 山城総合運動公園、丹波自然運動公園、伏見港公園、府民スポーツ広場、関西文化学術研究都市記念公園の利用者数(年間)	150.7					
12 洛西浄化センター公園スポーツ施設の利用者数(年間)	85.1					
13 総合型地域スポーツクラブの設置市町村数	12.5					
14 府立植物園の入園者数(年間)	40.0					
15 府立図書館の本の貸出冊数(年間)	19.3					

② 統計データ及び施策指標の動き

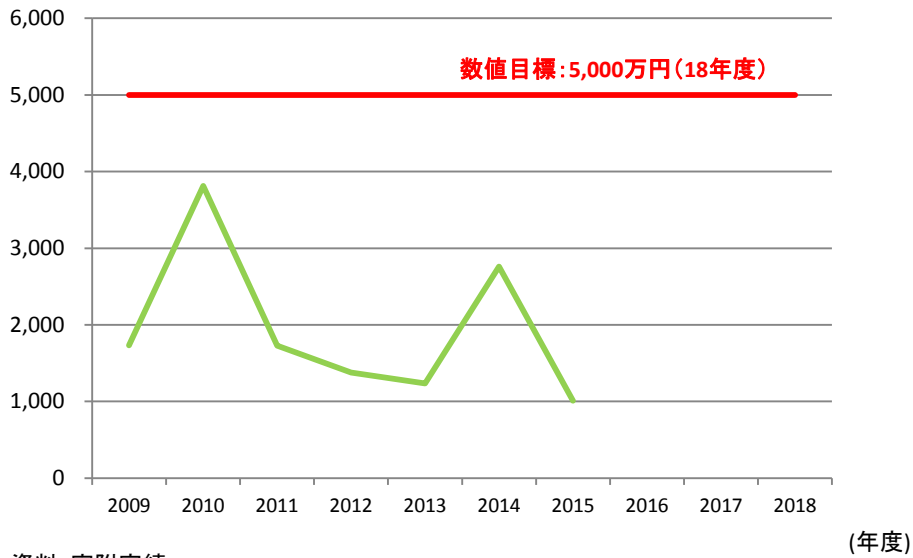
統計データ



施策指標

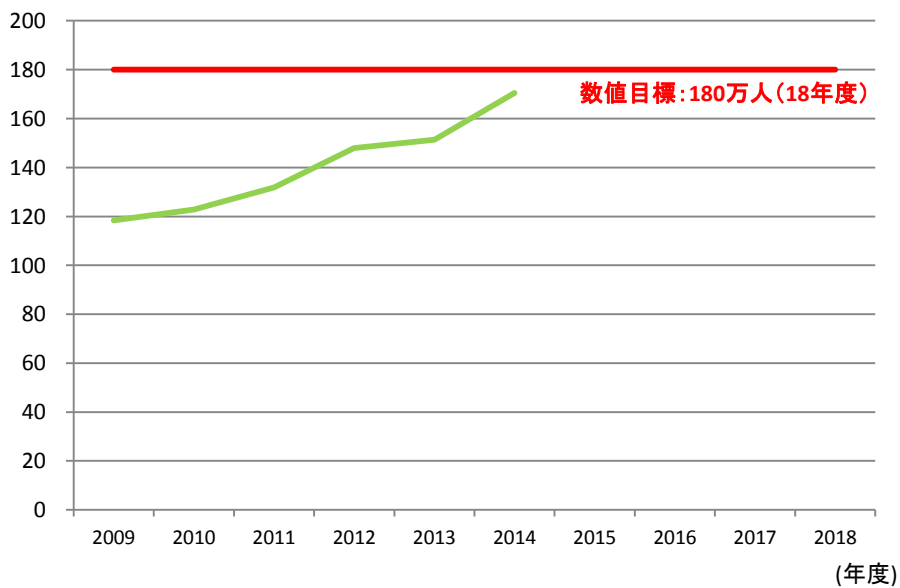
(万円)

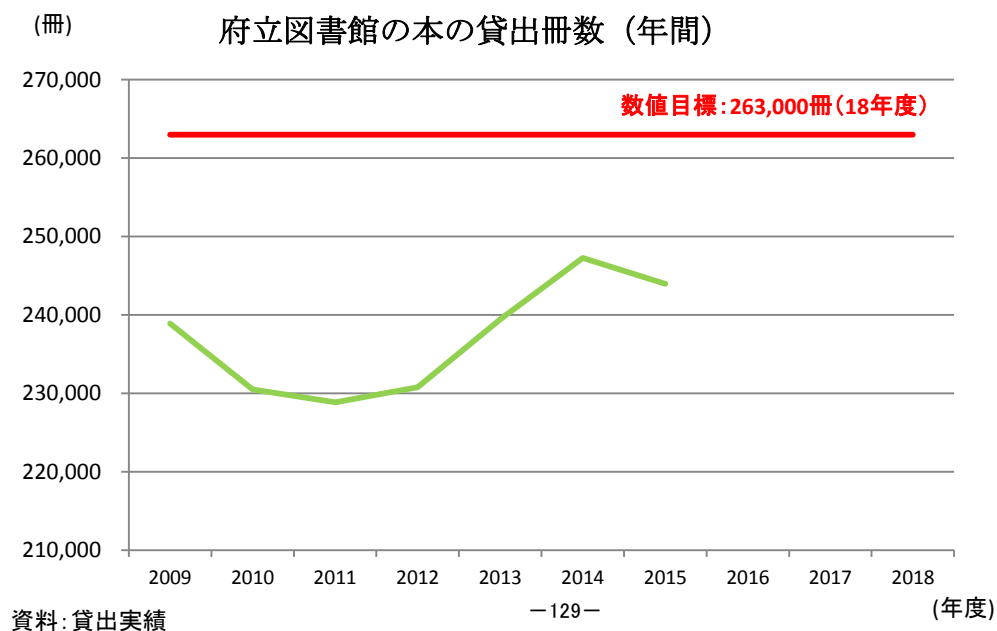
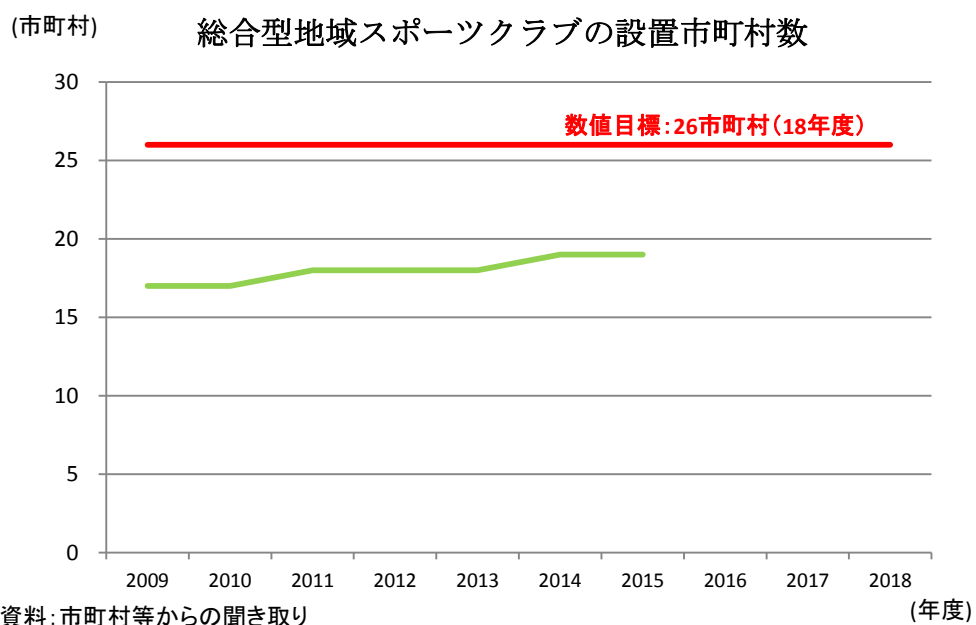
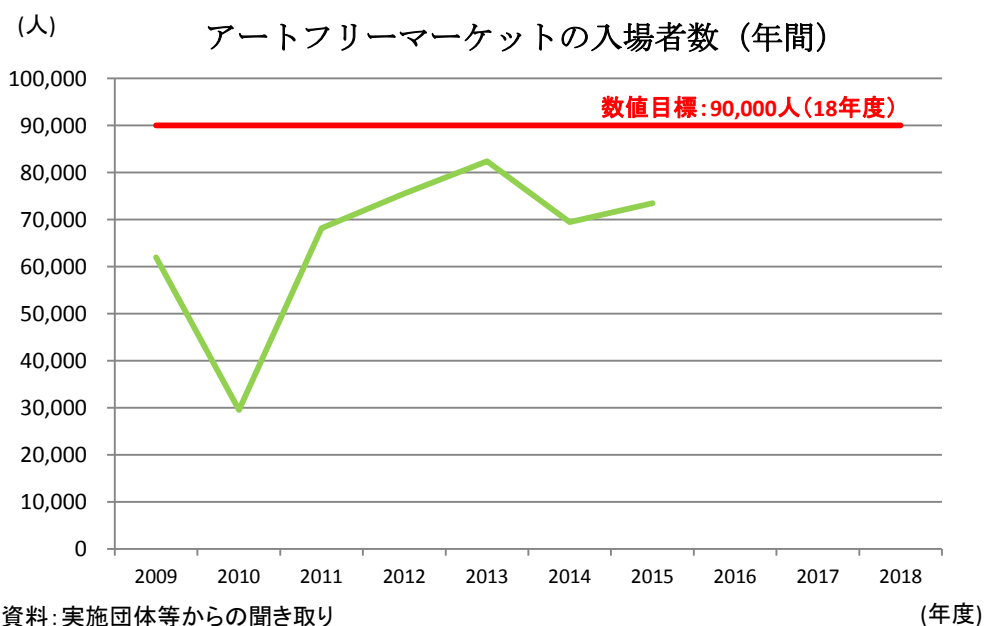
文化財を守り伝える京都府基金の寄附額（年間）



(万人)

府立の文化施設に来場した人の数





③ 指標・事業連関表〔Ⅲ京都力の発揮(3)文化創造〕

基本目標	指 標
全分野・事象 共通	<ul style="list-style-type: none"> ■ これからも京都府に住み続けたいと思う人の割合
本事象 共通	<ul style="list-style-type: none"> ■ 明治以来初めての省庁移転として、文化庁の全面的な京都移転が決定したことが、東京一極集中の是正や日本の文化振興の一助になると思う人の割合
2020年（平成32年）のオリンピック・パラリンピック等を見据えた京都文化の発信が進むこと	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 京都文化を国内外に発信する文化イベント開催数（累計）
優れた歴史的、文化的、芸術的資産が保全・活用されること	<ul style="list-style-type: none"> ■ 京都府では歴史的な文化遺産や文化財などが社会全体で守られ、活用されていると思う人の割合
	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 世界遺産登録件数 【2016年実績】
	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 重要無形文化財保持者数（シェア）【2016年実績】
	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 重要無形民俗文化財数（シェア）【2016年実績】
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 文化財を守り伝える京都府基金の寄附額（年間）
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 文化財講座等の参加者数（年間）
青少年をはじめ人々が京都文化にふれる機会が増えること	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 高校生伝統文化事業参加延べ生徒数
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 高校生や大学生等のきもの体験事業の参加者数（累計）
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> きものパスポートサポーター登録者数
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 府立の文化施設に来場した人の数（年間）
地域における文化・芸術活動が活発化すること	<ul style="list-style-type: none"> ■ 住んでいる地域で、地域の文化・芸術活動が活発に行われていると思う人の割合
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の祭りや伝統行事などに参画している人の割合
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> アートフリーマーケットの入場者数（年間）
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 京都文化ベンチャーコンペティションの応募件数（年間）
新しい文化・芸術、スポーツの拠点づくりや活動が拡充すること	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 国民体育大会の成績 <input type="checkbox"/>
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 山城総合運動公園、丹波自然運動公園、伏見港公園、府民スポーツ広場、関西文化学術研究都市記念公園の利用者数（年間）
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 洛西浄化センター公園スポーツ施設の利用者数（年間）
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 総合型地域スポーツクラブの設置市町村数
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 府立植物園の入園者数（年間）
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 府立図書館の本の貸出冊数（年間）

⑳当初予算等における主要な事業 <small>※「事業仕分け・評価調査」を作成した政策的な事業を基本に掲載</small>		
推移	水準	
↗	92	
—	67	
—	○	「文化首都・京都」事業費 (京都文化フェア(仮称)2016-2020開催費) 「文化のみやこ・京都」推進事業費
↗	82	新・世界遺産事業費
↗	◎	「文化首都・京都」事業費 (祇園祭山鉾懸装品新調事業費補助金)
↘	—	(こころのふるさと京都の文化財保護事業費)
↘	×	(新総合資料館(仮称)整備関係事業費)
↘	◎	(国際京都学センター事業費)
		和食文化推進事業費
		和食文化高等教育機関設置推進費
		文化財対策費
		京都の記憶遺産デジタルアーカイブ事業費
		堂本印象美術館50周年リノベーション事業費
↘	△	「文化首都・京都」事業費
↗	○	(こころを育む古典の日推進事業費)
↗	○	無形文化遺産「和食」発信事業費
↗	○	高校生「京の文化力」推進事業費
		高校生伝統文化事業費
↗	49	「文化首都・京都」事業費
↗	44	(北山文化環境ゾーン整備推進費)
↗	○	
↗	◎	
↗	○	「スポーツ王国・京都」事業費
↗	△	(京都府版マスターズ大会開催費)
↗	◎	未来のメダリスト創生事業費
↗	○	京のアスリート育成・強化総合推進費
↗	△	北山文化環境ゾーン整備推進費
↗	△	(植物園魅力創出事業費)
↘	△	四季の彩り事業費

凡例

■ 府民意識調査

推 移:ス・・・前回より向上
 ↳・・・前回より後退
 水 準:割合(%)

◆ 統計データ

推 移:ス・・・前回より改善(前回と同値を含む)
 ↳・・・前回より後退
 水 準:◎・・・全国順位5位以上
 ○・・・全国平均以上
 △・・・全国平均未満
 ×・・・全国下位5位以下

□ 施策指標

推 移:ス・・・前年度実績以上
 ↳・・・前年度実績未満
 水 準:◎・・・中期計画目標達成
 ○・・・参考年間目標以上
 △・・・参考年間目標未満かつ基準値以上
 ×・・・基準値未満

(共通) ー・・・比較不能

【京都力の発揮】（４）産業革新・中小企業育成

① 数値目標に対する施策指標の進捗状況

施策指標	進捗率 (%)	進捗率グラフ				
		0%	25%	50%	75%	100%
Ⅲ 京都力の発揮						
(4) 産業革新・中小企業育成						
1 中小企業応援条例に基づく「元気印中小企業」認定企業数(累計)	29.0					
2 業界・業種を超えたコラボレーションによる新ビジネスの数(累計)	30.0					
3 西陣織物(帯地)の出荷額(年間)	—					
4 伝統産業の商品開発等に向けた連携企業数(累計)	43.3					
5 伝統産業設備投資支援企業数(累計)	51.3					
6 伝統工芸品販路開拓支援件数(累計)	99.4					
7 伝統工芸士認定者数(累計)	8.4					
8 京もの認定工芸士の認定者数(累計)	32.0					
9 関西文化学術研究都市(府域)に立地する文化学術研究機関等の数	71.4					
10 海外販路開拓成約件数(年間)	86.7					
11 海外企業立地件数(年間)	50.0					
12 京都舞鶴港における貿易取扱量(年間)	-94.1					
13 京都舞鶴港におけるコンテナ取扱量(年間)	21.2					
14 クルーズ客船の寄港数(年間)	7.7					
15 京都舞鶴港の定期航路数(年間)	50.0					
16 売上倍増企業数	—					
17 売上20%増加企業数(累計)	—					
18 支援制度を活用し試作・開発に取り組む中小企業数(累計)	68.0					
19 欠損法人割合	118.2					
20 中小企業向け官公需発注割合	—					
21 府内の倒産企業の件数(年間)	850.0					
22 事業継続センターによるサポート件数(年間)	176.3					
23 「こだわり商店街」「一商一特商店街」「コミュニティ商店街」など特徴ある事業に取り組む商店街数	254.8					
24 企業立地件数(累計)	26.2					
25 府内企業向け官公需発注割合	—					
26 建設工事の府内企業発注割合	100.0					
27 観光入込客数(年間)	472.1					
28 観光客の一人当たり消費額	510.7					
29 外国人宿泊客数(年間)	591.4					
30 府内を訪れた観光客の当該旅行に対する評価(満足度)	200.0					

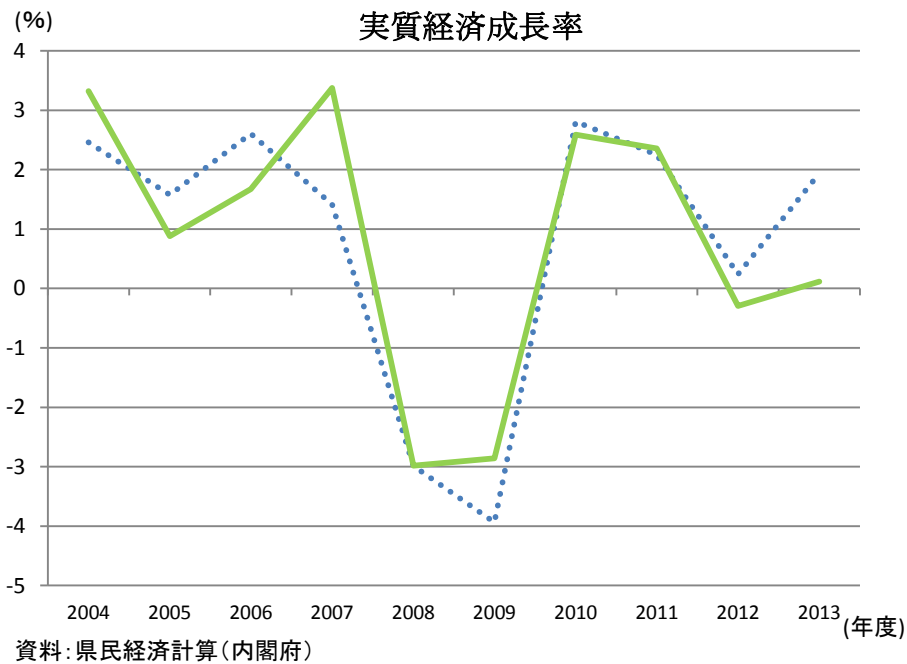
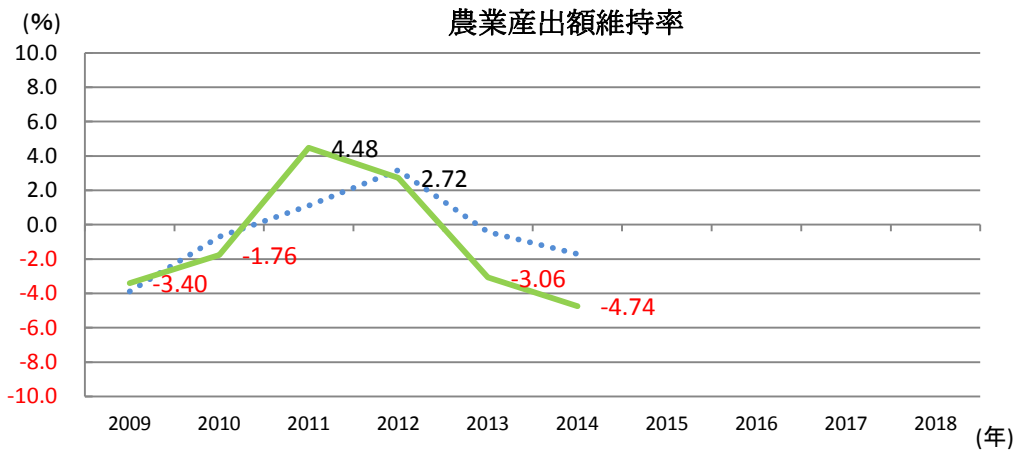
施策指標	進捗率 (%)	進捗率グラフ				
		0%	25%	50%	75%	100%
31 農業における新規就農・就業者数(年間)	17.0					
32 担い手への農地の集積率	33.3					
33 農業法人数	41.2					
34 林業における新規就業者数(年間)	-7.1					
35 漁業における新規就業者数(年間)	250.0					
36 農産物や加工品等の年間販売額が1億円を超える農業法人等の数	15.8					
37 農産物の加工品等の年間販売額が2,000万円を超える農企業者(企業的な農業経営を行う農業者)数	—					
38 農産物の販売額(ブランド京野菜等主要5品目)(年間)	78.7					
39 ブランド水産物の販売額(丹後とり貝、丹後ぐじ)(年間)	175.3					
40 農業・林業・漁業の生産活動による最終生産物の生産額(年間)	—					
41 農林水産物の輸出額(年間)	271.4					
42 府農林水産技術センターにより開発された新品種、新技術数(品種登録出願数)(年間)	100.0					
43 府農林水産技術センターにより開発された新品種、新技術数(新技術普及マニュアル公開数)(年間)	100.0					
44 農産物直売所の販売金額(年間)	—					
45 府内産素材生産量(年間)	-6.5					
46 6次産業の販売額(年間)	—					
47 6次産業化に取り組むプロジェクト数(累計)	62.5					
48 きょうと農商工連携応援ファンドを活用して開発した商品の販売額(累計)	—					
49 森林経営計画に基づき林業が行われている森林面積(森林経営計画の認定面積)	12.3					
50 緑の交付金による住宅建築数(年間)	103.2					
51 公共施設等の新築・改修等で府内産木材を利用した件数(累計)	17.7					

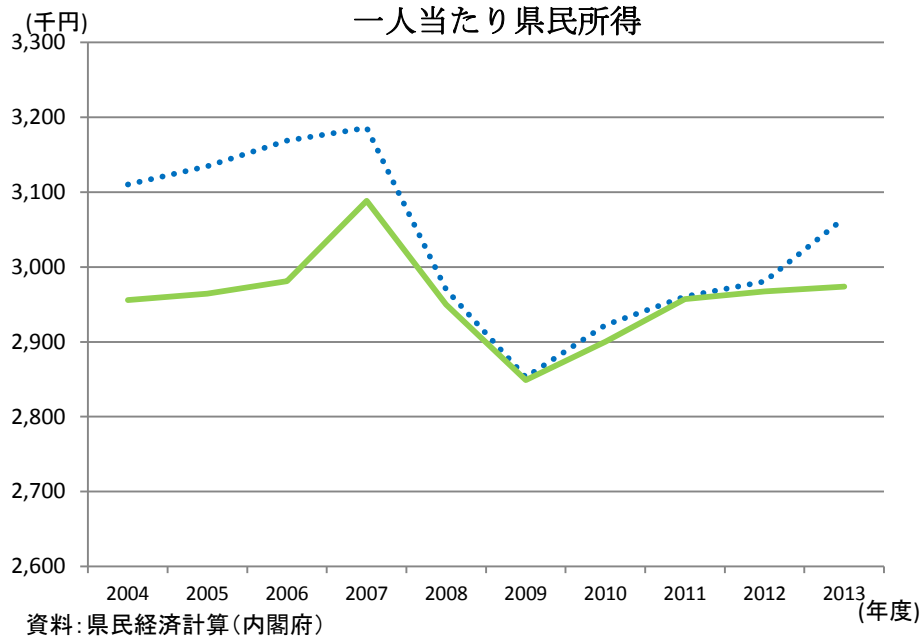
※ 基準値からの増減を目標とする指標等進捗率が表せない指標については、進捗率欄及び進捗率グラフ欄は「—」としている。

② 統計データ及び施策指標の動き

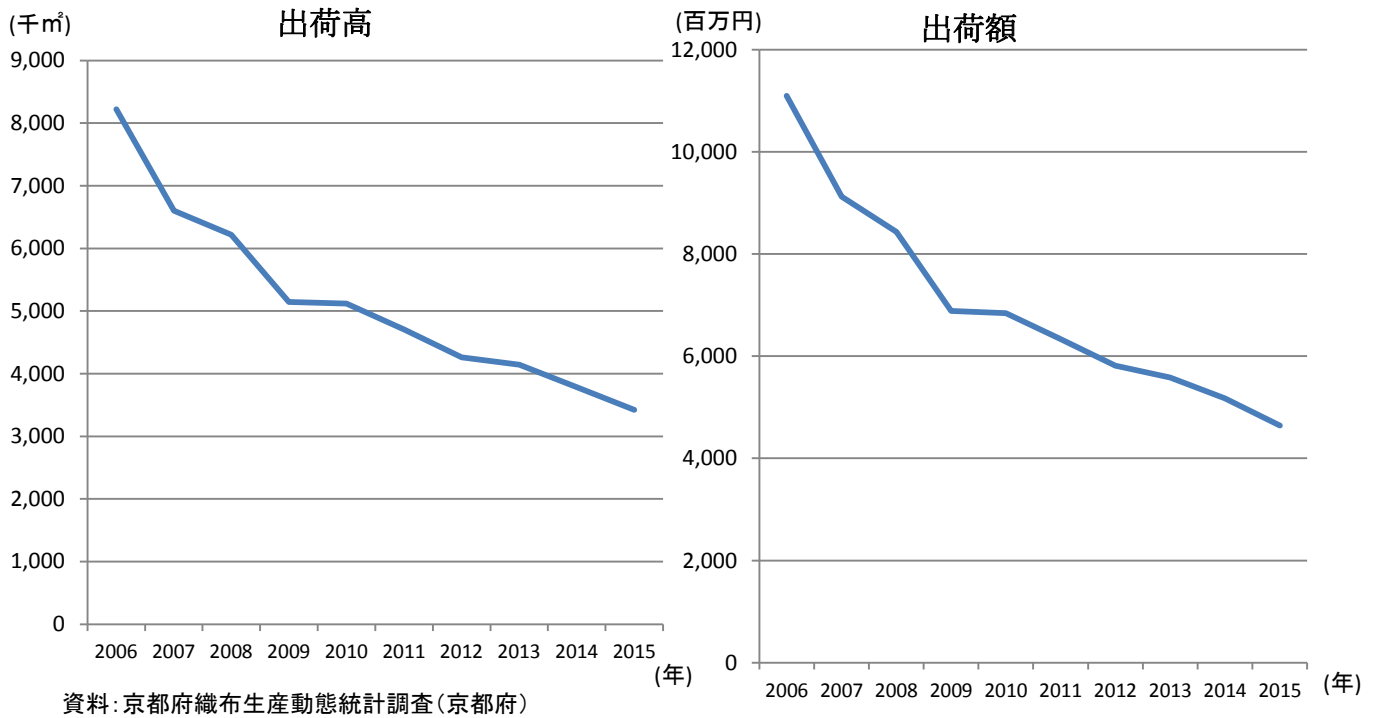
統計データ

※推移グラフ中、点線は全国を、実線は京都府を示している。

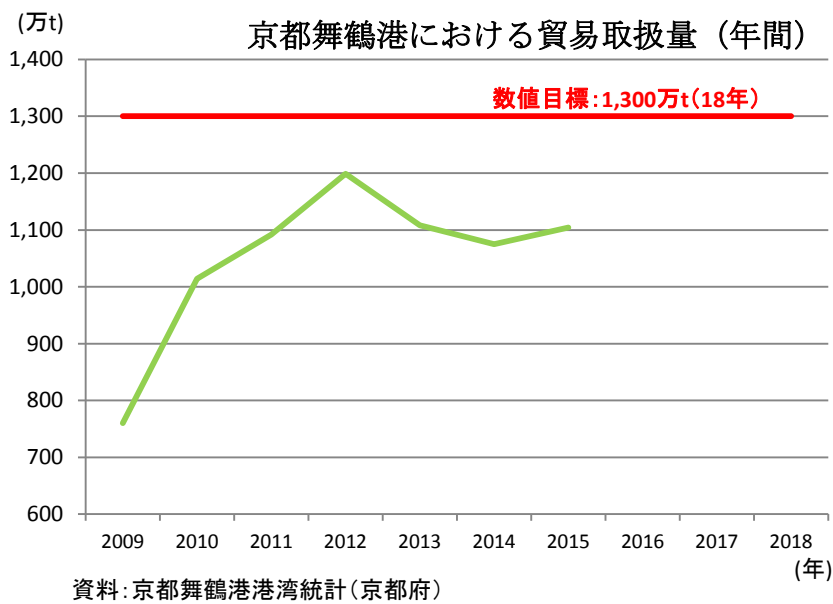
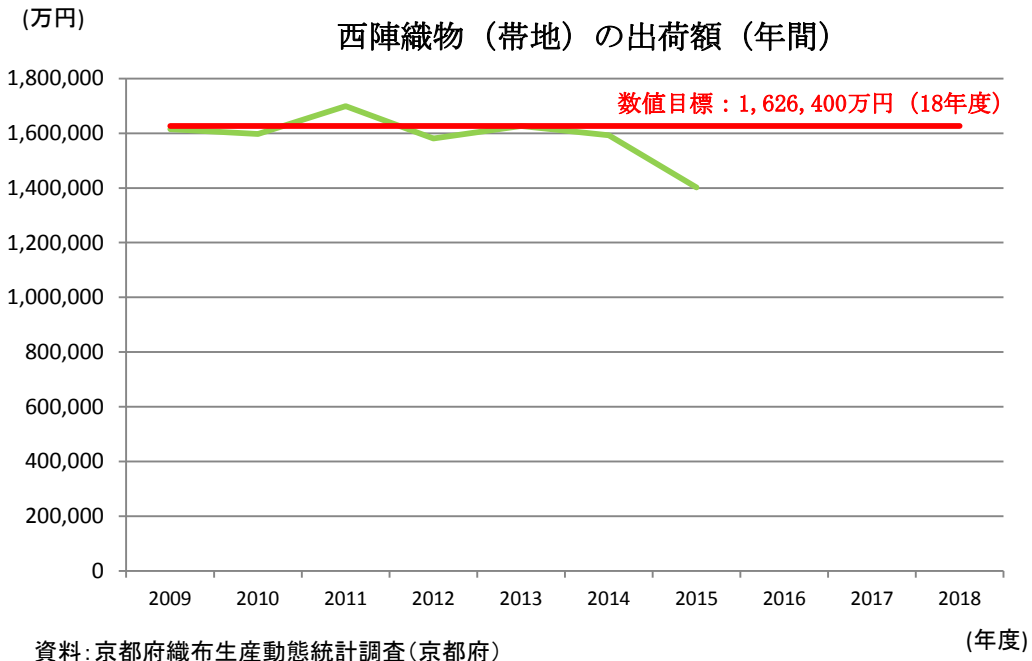


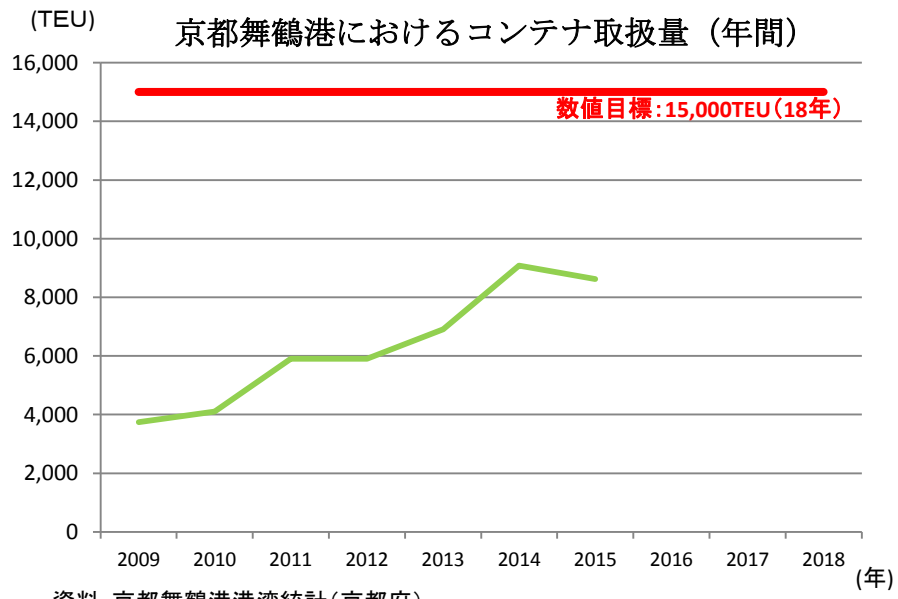


丹後地域の織物出荷高及び出荷額

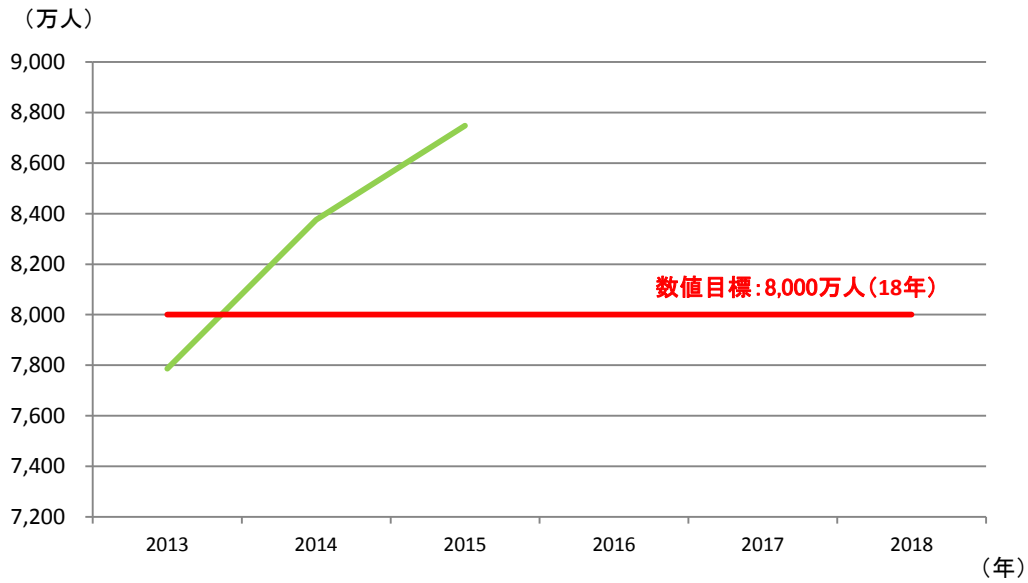


施策指標



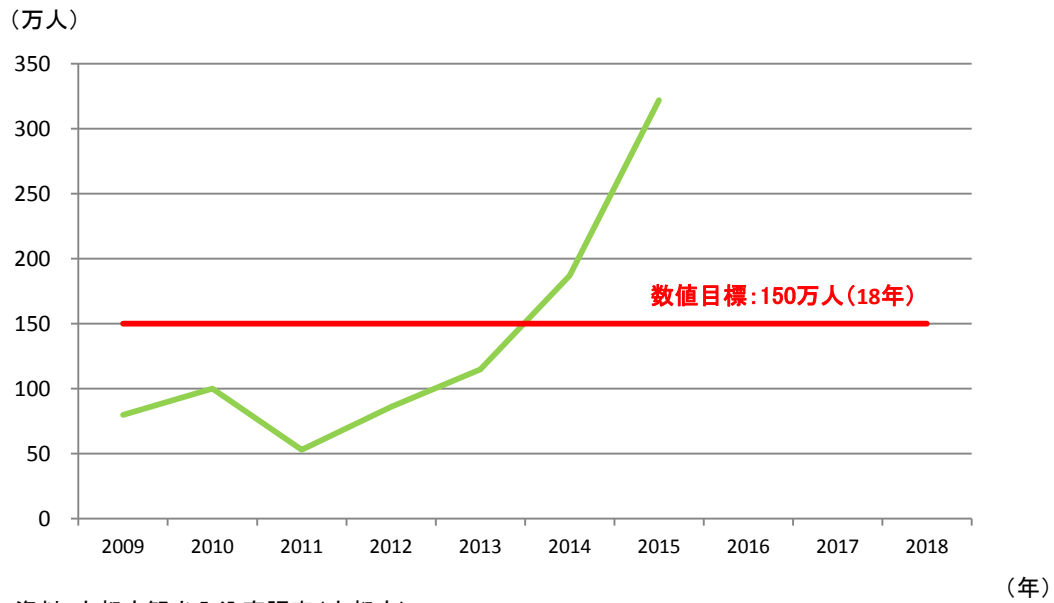


観光入込客数（年間）



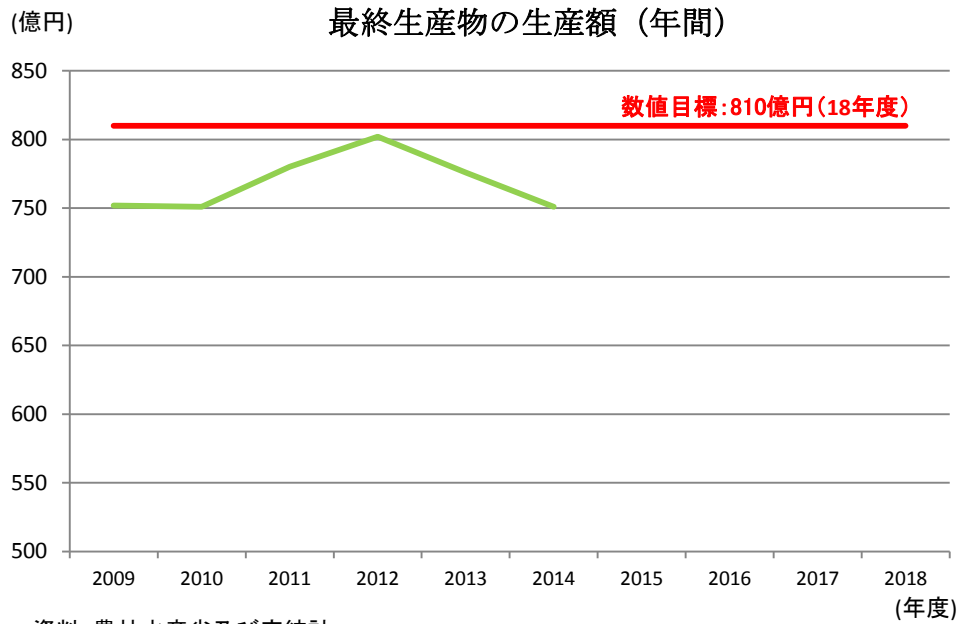
資料: 京都府観光入込客調査(京都府)

外国人宿泊客数（年間）

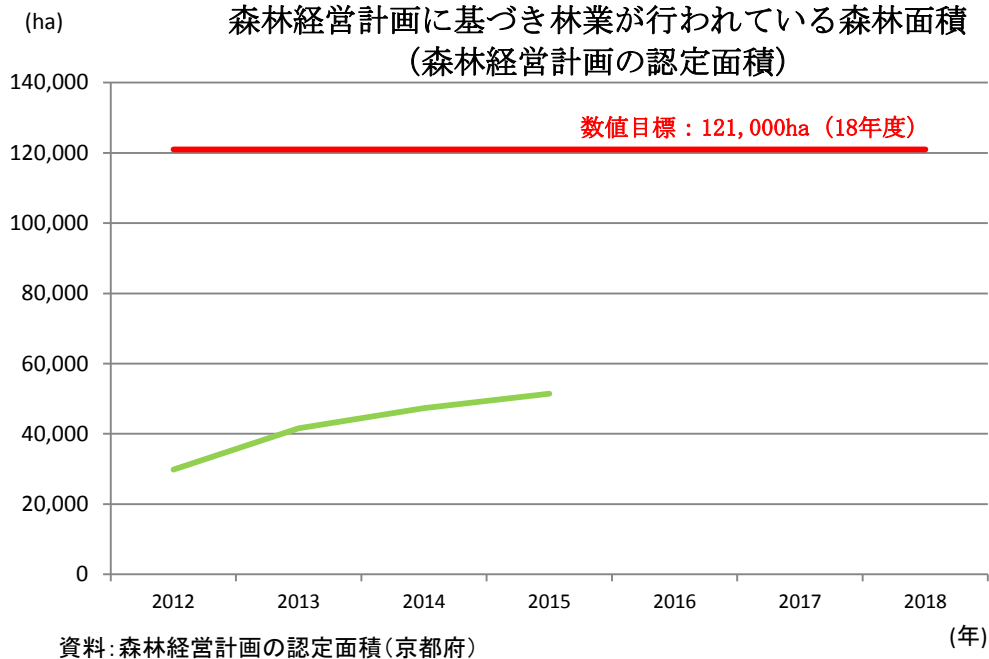


資料: 京都府観光入込客調査(京都府)

農業・林業・漁業の生産活動による
最終生産物の生産額（年間）



森林経営計画に基づき林業が行われている森林面積
(森林経営計画の認定面積)



③ 指標・事業連関表〔Ⅲ京都力の発揮(4)産業革新・中小企業育成〕

基本目標	指 標
全分野・事象 共通	<input checked="" type="checkbox"/> これからも京都府に住み続けたいと思う人の割合
本事象 共通	<input checked="" type="checkbox"/> 実質経済成長率 【2013年度実績】
	<input checked="" type="checkbox"/> 一人当たり県民所得 【2013年度実績】
異分野・異業種の交流や連携により、多様なイノベーションの取組が進むこと	<input type="checkbox"/> 中小企業応援条例に基づく「元気印中小企業」認定企業数（累計）
	<input type="checkbox"/> 業界・業種を超えたコラボレーションによる新ビジネスの数（累計）
伝統産業や生活文化産業が新たな発展を遂げること	<input checked="" type="checkbox"/> 西陣織や丹後ちりめん、京焼・清水焼などの伝統工芸品を日常生活で使っている人の割合
	<input checked="" type="checkbox"/> 丹後地域の織物出荷高
	<input checked="" type="checkbox"/> 丹後地域の織物出荷額
	<input type="checkbox"/> 西陣織物（帯地）の出荷額（年間）
	<input type="checkbox"/> 伝統産業の商品開発等に向けた連携企業数（累計）
	<input type="checkbox"/> 伝統産業設備投資支援企業数（累計）
	<input type="checkbox"/> 伝統工芸品販路開拓支援件数（累計）
	<input type="checkbox"/> 伝統工芸士認定者数（累計） <input type="checkbox"/> 京もの認定工芸士の認定者数（累計）
関西文化学術研究都市等における文化学術研究機関等の立地が増えること	<input checked="" type="checkbox"/> 特許出願件数（人口10万人当たり）
	<input type="checkbox"/> 関西文化学術研究都市（府域）に立地する文化学術研究機関等の数
府内企業による輸出拡大や海外企業の府内投資が進むこと	<input type="checkbox"/> 海外販路開拓成約件数（年間）
	<input type="checkbox"/> 海外企業立地件数（年間）
日本海側拠点港に選定された京都舞鶴港を通じた交易が活発化すること	<input type="checkbox"/> 京都舞鶴港における貿易取扱量（年間）
	<input type="checkbox"/> 京都舞鶴港におけるコンテナ取扱量（年間）
	<input type="checkbox"/> クルーズ客船の寄港数（年間）
	<input type="checkbox"/> 京都舞鶴港の定期航路数（年間）
特色ある多様な中小企業が育ち、発展すること	<input type="checkbox"/> 売上倍増企業数 【2019年度に調査実施】
	<input type="checkbox"/> 売上20%増加企業数（累計） 【2014年度実績】
	<input type="checkbox"/> 支援制度を活用し試作・開発に取り組む中小企業数（累計）
	<input type="checkbox"/> 欠損法人割合
	<input type="checkbox"/> 中小企業向け官公需発注割合 【2014年度実績】
	<input type="checkbox"/> 府内の倒産企業の件数（年間）
	<input type="checkbox"/> 事業継続センターによるサポート件数（年間）
	<input type="checkbox"/> 「こだわり商店街」「一商一特商店街」「コミュニティ商店街」など特徴ある事業に取り組む商店街数
府内各地への産業立地が進み、雇用が創出され、地場産業が活性化すること	<input type="checkbox"/> 企業立地件数（累計）
	<input type="checkbox"/> 府内企業向け官公需発注割合 【2014年度実績】
	<input type="checkbox"/> 建設工事の府内企業発注割合

28 当初予算等における主要な事業 ※「事業仕分け・評価調書」を作成した政策的な事業を基本に掲載		
推移	水準	
↗	92	
↗	△	
↗	△	
↘	○	産学公連携共同コーディネート推進事業費
↗	○	京都クロスメディアパーク整備事業費
		北部リサーチパーク推進事業費
		丹後新時代産業育成事業費
↗	28	次世代職人育成事業費
↘	—	匠の公共事業費
↘	—	伝統産業生産基盤支援事業費
↘	×	丹後・西陣織物産地活性化事業費
↘	○	
↗	○	
↗	○	
↗	△	
↗	△	
↗	◎	けいはんな「スマート京都」推進事業費
↗	○	
↘	○	「Kyoto Japan」海外戦略プロジェクト費
↗	○	Invest Kyoto推進事業費
↗	×	京都舞鶴港ランドブリッジ構想推進事業費
↘	△	
↘	△	
↗	○	
—	—	「小さな企業」特別支援事業費
—	—	「企業の森」事業費
↗	○	エコノミック・ガーデニング支援事業費
↗	◎	中小企業金融支援費
—	—	小規模企業者等設備投資支援事業費
↗	◎	中小企業総合応援事業費(中小企業知恵の経営ステップアップ事業費)
↗	◎	北部産業活性化推進事業費
↗	◎	京都ブランド推進事業費
		京都知恵産業フェア2016開催事業費
		ソフト知恵産業支援事業費
		商店街・商店群創生事業費
↘	○	京都産業立地促進事業費
—	—	
↗	◎	

凡例

■ 府民意識調査

推移: ス…前回より向上
 ↳…前回より後退
水準: 割合(%)

◆ 統計データ

推移: ス…前回より改善(前回と同値を含む)
 ↳…前回より後退
水準: ◎…全国順位5位以上
 ○…全国平均以上
 △…全国平均未満
 ×…全国下位5位以下

□ 施策指標

推移: ス…前年度実績以上
 ↳…前年度実績未満
水準: ◎…中期計画目標達成
 ○…参考年間目標以上
 △…参考年間目標未満かつ基準値以上
 ×…基準値未満

(共通) —…比較不能

基本目標	指 標
京都観光の競争力が向上し、交流が拡大すること	◆ 外国人延べ宿泊者数（人口1,000人当たり）【2015年速報値】
	□ 観光入込客数（年間）
	□ 観光客の一人当たり消費額
	□ 外国人宿泊客数（年間）
	□ 府内を訪れた観光客の当該旅行に対する評価（満足度）
農林水産業の将来を担う人材が育つこと	◆ 農林水産業就業人口割合【2015年速報値】
	□ 農業における新規就農・就業者数（年間）
	□ 担い手への農地の集積率
	□ 農業法人数
	□ 林業における新規就業者数（年間）
	□ 漁業における新規就業者数（年間）
ブランド産品など農林水産物の生産・販売が拡大すること	◆ 農業産出額維持率【2014年実績】
	◆ 就業者一人当たり農業産出額（販売農家）【2010年実績】
	◆ 就業者一人当たり漁業生産額（海面漁業・海面養殖業）【2013年実績】
	□ 農産物や加工品等の年間販売額が1億円を超える農業法人等の数
	□ 農産物の加工品等の年間販売額が2,000万円を超える農企業者（企業的な農業経営を行う農業者）数【2014年度実績】
	□ 農産物の販売額（ブランド京野菜等主要5品目）（年間）
	□ ブランド水産物の販売額（丹後とり貝、丹後ぐじ）（年間）
	□ 農業・林業・漁業の生産活動による最終生産物の生産額（年間）【2014年度実績】
	□ 農林水産物の輸出額（年間）
	□ 府農林水産技術センターにより開発された新品種、新技術数（品種登録出願数・新技術普及マニュアル公開数）（年間）
	品種登録出願数
	新技術普及マニュアル公開数
	□ 農産物直売所の販売金額（年間）【2014年度実績】
□ 府内産素材生産量（年間）	
6次産業化等が進み、農林水産物の新たな価値が創出されること	□ 6次産業の販売額（年間）【2013年度実績】
	□ 6次産業化に取り組むプロジェクト数（累計）
	□ きょうと農商工連携応援ファンドを活用して開発した商品の販売額（累計）【2014年度実績】
循環型林業のしくみが構築されること	□ 森林経営計画に基づき林業が行われている森林面積（森林経営計画の認定面積）
	□ 緑の交付金による住宅建築数（年間）
	□ 公共施設等の新築・改修等で府内産木材を利用した件数（累計）

28 当初予算等における主要な事業 <small>※「事業仕分け・評価調書」を作成した政策的な事業を基本に掲載</small>		
推移	水準	
↗	◎	観光力強化事業費
↗	◎	京都・かぐや姫観光推進事業費
↗	◎	京都・花灯路推進事業費
↗	◎	京の七夕事業費
↗	◎	「海の京都」事業費、「海の京都」観光推進事業費
		「森の京都」事業費、「森の京都」観光推進事業費
		「お茶の京都」事業費、「お茶の京都」観光推進事業費
		鴨川納涼事業費
		「新しい京の旅」創造事業費
		地域構想推進美観事業費
		インバウンド対策強化事業費
↘	△	京の農林水産業イノベーション事業費
↘	△	(京都農人材育成総合対策事業費)
↗	△	(京都次世代育成学舎事業費)
↗	○	
↗	×	
↗	◎	
↘	△	京の農林水産業イノベーション事業費
↗	△	(農地集積規模拡大支援事業費)
↘	△	(3万農家総元気づくり事業費)
↗	△	(京力農場づくり事業費)
—	—	(京都農業経営強化事業費)
↗	○	(畜産・酪農収益力強化事業費)
↗	◎	(「おいしい京都」府内戦略事業費)
—	—	(「おいしい京都」首都圏戦略事業費)
↗	◎	(「おいしい京都」世界戦略事業費)
		京の輝き・こだわり京都米づくり応援事業費
↘	◎	担い手収益力向上支援事業費
↗	◎	宇治茶世界文化遺産登録推進戦略事業費
—	—	宇治茶ブランド力強化事業費
↗	×	茶業研究所機能強化事業費
		元気いっぱい水産業推進事業費
—	—	京の農林水産業イノベーション事業費
↗	△	(京都6次産業プロジェクト戦略事業費)
—	—	(丹後10次産業化拠点づくり事業費)
↗	△	京の農林水産業イノベーション事業費
↘	◎	(林業「森世紀」創造戦略事業費)
↘	×	全国育樹祭開催費
		京都モデルフォレスト推進事業費
		京都モデルフォレスト運動10周年記念事業費

凡例

■ 府民意識調査

推移: ↗…前回より向上
 ↘…前回より後退
 水準: 割合(%)

◆ 統計データ

推移: ↗…前回より改善(前回と同値を含む)
 ↘…前回より後退
 水準: ◎…全国順位5位以上
 ○…全国平均以上
 △…全国平均未満
 ×…全国下位5位以下

□ 施策指標

推移: ↗…前年度実績以上
 ↘…前年度実績未満
 水準: ◎…中期計画目標達成
 ○…参考年間目標以上
 △…参考年間目標未満かつ基準値以上
 ×…基準値未満

(共通) —…比較不能

【京都力の発揮】（５）交流連帯

① 数値目標に対する施策指標の進捗状況

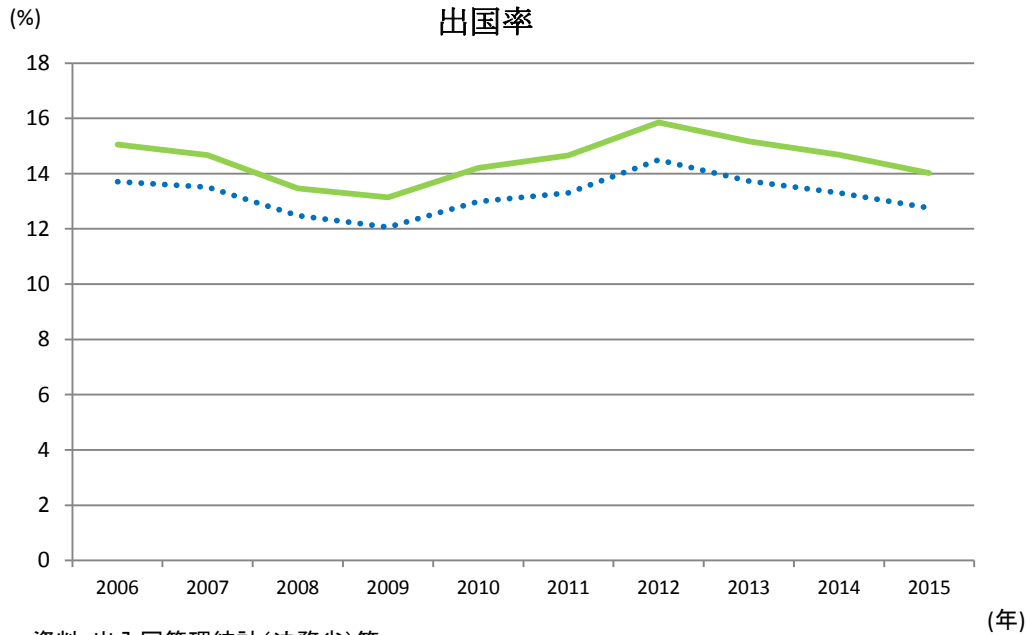
施策指標	進捗率 (%)	進捗率グラフ				
		0%	25%	50%	75%	100%
Ⅲ 京都力の発揮						
(5) 交流連帯						
1 名神高速道路から北部への移動にかかる所要時間(大山崎JCT～京丹後大宮IC)	40.0					
2 名神高速道路から南部への移動にかかる所要時間(大山崎JCT～木津IC)	0.0					
3 関西文化学術研究都市のクラスター間における移動にかかる所要時間(田辺地区～精華西木津地区)	0.0					
4 物流効率化のための「物流ネットワーク(仮称)」への参画者数	15.0					
5 京都丹後鉄道利用人数(年間)	7.1					
6 乗合バスの利用者数(年間)	—					
7 ブロードバンド世帯普及率(ブロードバンド契約数/総世帯数)	84.0					
8 スマートフォンアプリ「KYOTO Trip+」ダウンロード数(累計)	101.4					
9 府内における国際会議開催件数(年間)	—					
10 海外サイエンスパーク等との提携・連携の数	266.7					

※ 基準値からの増減を目標とする指標等進捗率が表せない指標については、進捗率欄及び進捗率グラフ欄は「—」としている。

② 統計データ及び施策指標の動き

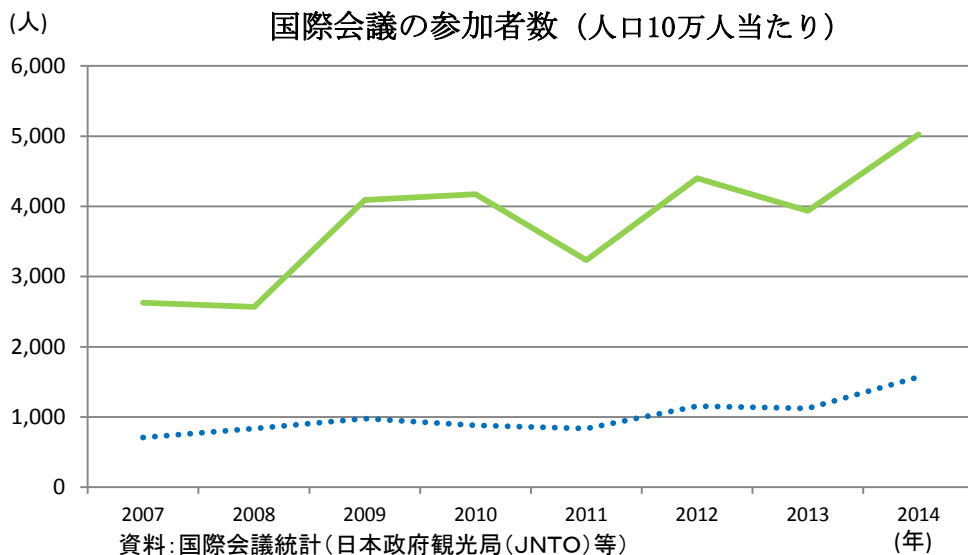
統計データ

※推移グラフ中、点線は全国を、実線は京都府を示している。



資料: 出入国管理統計(法務省)等

注: 2015年の人口は2014年10月1日現在



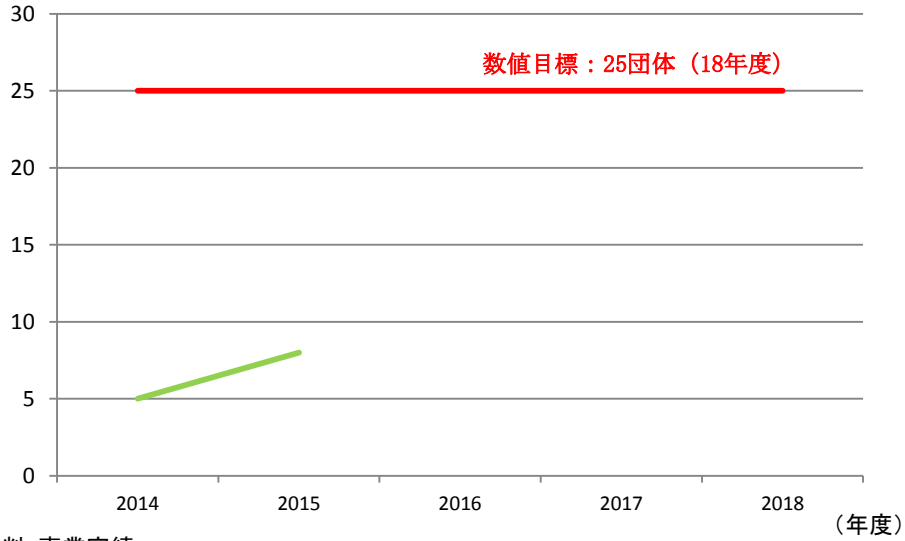
資料: 国際会議統計(日本政府観光局(JNTO)等)

注: 07年から調査対象とする国際会議の基準が改定されたため、06年以前の実績値は計上していない。

施策指標

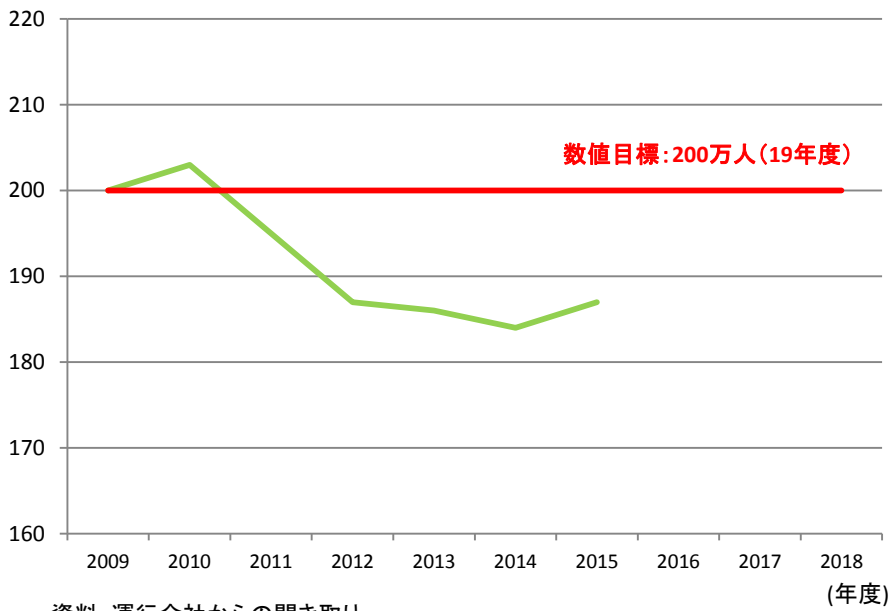
(社・団体)

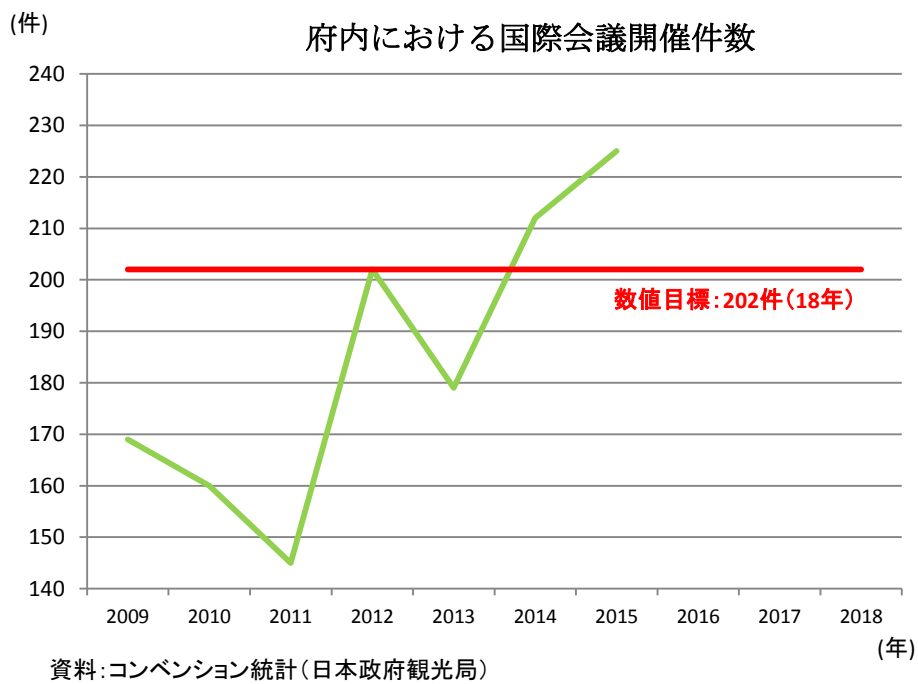
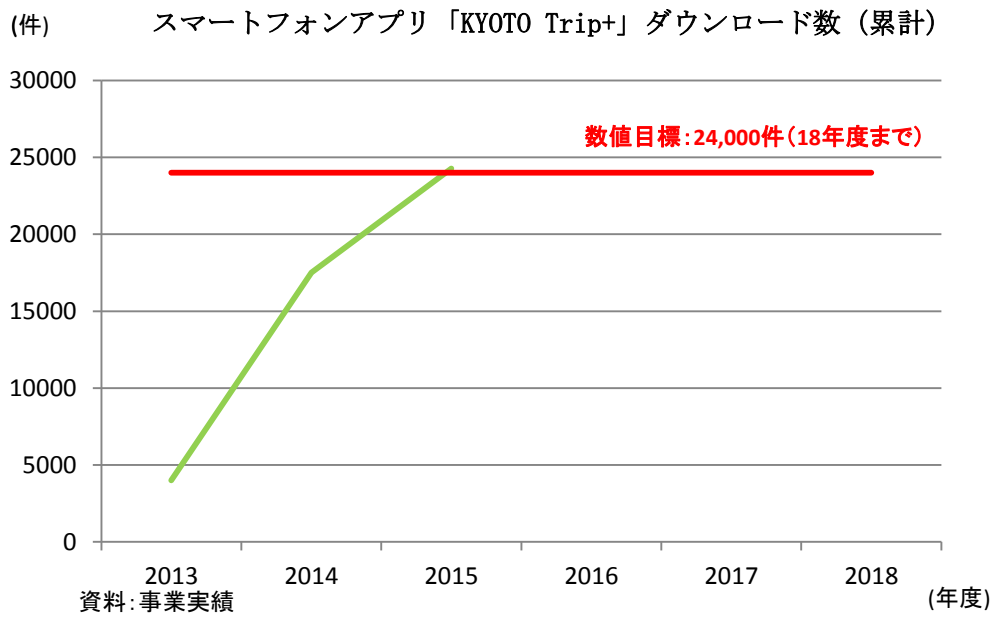
物流効率化のための「物流ネットワーク（仮称）」への参画者数



(万人)

京都丹後鉄道利用人数（年間）





③ 指標・事業連関表〔Ⅲ京都力の発揮(5)交流連帯〕

基本目標	指 標
全分野・事象 共通	<ul style="list-style-type: none"> ■ これからも京都府に住み続けたいと思う人の割合
国土軸を構成する道路・鉄道・港湾・エネルギーパイプラインの整備等が進展すること	
快適に異動ができ、移動にかかる所要時間が短縮されること	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 道路改良率【2014年度実績】
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 名神高速道路から北部への移動にかかる所要時間（大山崎JCT～京丹後大宮IC）
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 名神高速道路から南部への移動にかかる所要時間（大山崎JCT～木津IC）
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 関西文化学術研究都市のクラスター間における移動にかかる所要時間（田辺地区～精華西木津地区）
国際的な物流拠点等の整備が進展すること	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 物流効率化のための「物流ネットワーク（仮称）」への参画者数
府域全体で生活交通の維持確保が進むこと	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 京都丹後鉄道利用人数（年間）
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 乗合バスの利用者数（年間）【2014年度実績】
府域全体でICTの利活用が進むこと	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ブロードバンド世帯普及率（ブロードバンド契約数／総世帯数）
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> スマートフォンアプリ「KYOTO Trip+」ダウンロード数（累計）
文化・芸術、学問、スポーツ、産業など様々な分野での国際交流が盛んになること	<ul style="list-style-type: none"> ■ 外国人の友人や留学生との交流がある人の割合
	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 出国率（出国者数／総人口）
	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 国際会議の参加者数（人口10万人当たり）【2014年度実績】
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 府内における国際会議開催件数（年間）
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 海外サイエンスパーク等との提携・連携の数

⑳ 当初予算等における主要な事業 ※「事業仕分け・評価調書」を作成した政策的な事業を基本に掲載		
推移	水準	
↗	92	
		北陸新幹線推進費
↗	△	JR奈良線複線化・高速化整備事業費
↗	○	
↗	○	
↗	○	
↗	△	京都舞鶴港日本海側拠点機能推進事業
↗	△	生活・交通基盤整備事業費
—	—	生活交通ネットワーク構築支援費
		公共交通ネットワーク活性化事業費
		北近畿タンゴ鉄道支援費
		地域公共交通網再構築事業費
↗	△	
↗	◎	
↗	17	京都フランス友好交流推進事業費
↘	○	京都ケベック州友好交流推進事業費
↗	◎	
↗	◎	
↗	◎	

凡例

■ 府民意識調査

推 移: ↗…前回より向上
 ↘…前回より後退
 水 準: 割合(%)

◆ 統計データ

推 移: ↗…前回より改善(前回と同値を含む)
 ↘…前回より後退
 水 準: ◎…全国順位5位以上
 ○…全国平均以上
 △…全国平均未満
 ×…全国下位5位以下

□ 施策指標

推 移: ↗…前年度実績以上
 ↘…前年度実績未満
 水 準: ◎…中期計画目標達成
 ○…参考年間目標以上
 △…参考年間目標未満かつ基準値以上
 ×…基準値未満

(共通) —…比較不能

【京都力の発揮】（6）希望に輝く地域づくり

中期計画、地域振興計画の改定に当たっては、1. 頻発する自然災害や本格的な人口減少時代の到来など、重大な変化に的確に対応する「安心」の視点 2. 実を結びつつある社会基盤の上に立ち、各地域の持つポテンシャルをいかし京都府全体を活性化する「成長」の視点を重視したが、府内における地域別の基礎指標の動きを見る限り、地域ごとの状況には、それぞれの地勢、人口構造、産業構造等を反映して、かなりの相違がみられる。

○人口動向

京都市ではほぼ横ばいで推移しているが、南丹地域以北では減少傾向に拍車がかかっている。また、南部の山城地域においては、関西文化学術研究都市周辺で人口が増加しているのに対し、相楽東部地域では減少しており、エリア毎に差異が見られる。2015年までの15年間で、丹後地域では17%、中丹・南丹地域では9%人口が減少している（2015年国勢調査人口速報値による）ほか、府内全域で高齢化の進行、1世帯当たり人員の減少や高齢単身世帯割合の上昇等、厳しい状況が続いている。

○地域ごとの経済状況

2013年度の地域内総生産の状況を見ると、製造業の増加を受けて、相対的に製造業の占める割合が高い山城、南丹、中丹地域は拡大した。また、相対的に農林水産業や建設業の割合が高い丹後地域では、人口減少と高齢化の影響も相まって、地域内総生産の減少傾向が続いていたが、2008年度以降横ばいの状態にある。

○交流基盤整備の進展

成長戦略を推進するための基盤整備は着々と進んでいる。2010年度の舞鶴国際ふ頭（みずなぎふ頭）の供用開始、山陰近畿自動車道（宮津与謝道路）の開通のほか、2013年4月の京都第二外環状道路（大山崎JCT・IC－沓掛IC）開通、2014年7月の舞鶴若狭自動車道の全線開通、2015年7月の京都縦貫自動車道の全線開通、2016年度開通を目指す山陰近畿自動車道（野田川大宮道路）や、新名神高速道路（城陽JCT・IC－八幡JCT・IC）等、順調に整備が進められている。

○「みやこ構想」及び広域的な地域振興プロジェクトの推進

こうしたなか、希望に輝く地域づくりを主導する15の「みやこ構想」が平成26年度からセカンドステージに入り、構想ごとに実現したい地域の姿を「主たる目標」として明確化した上で、その進捗状況を具体的に測定するために設定された「みやこ構想指標」を活用したマネジメントも開始された。また、「海の京都」「森の京都」「お茶の京都」の「3つの京都」プロジェクトも2015年度から順次ターゲットイヤーを迎えている。

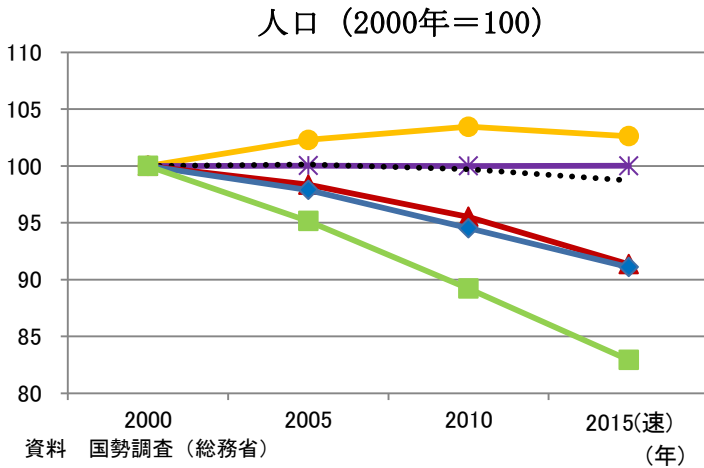
☆今後の課題

15の「みやこ構想」と3つの広域的プロジェクト（「海の京都」「森の京都」「お茶の京都」）を地域振興計画と連携させながら展開し、地域経済の活性化や交流人口・定住人口の増加につなげていくことが必要である。

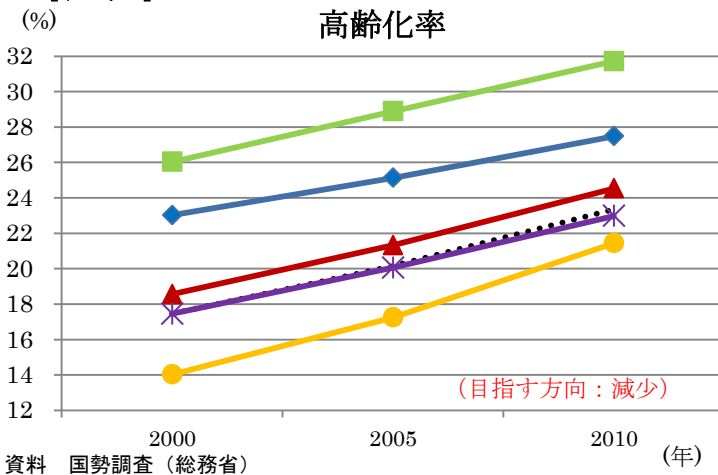
統計データ



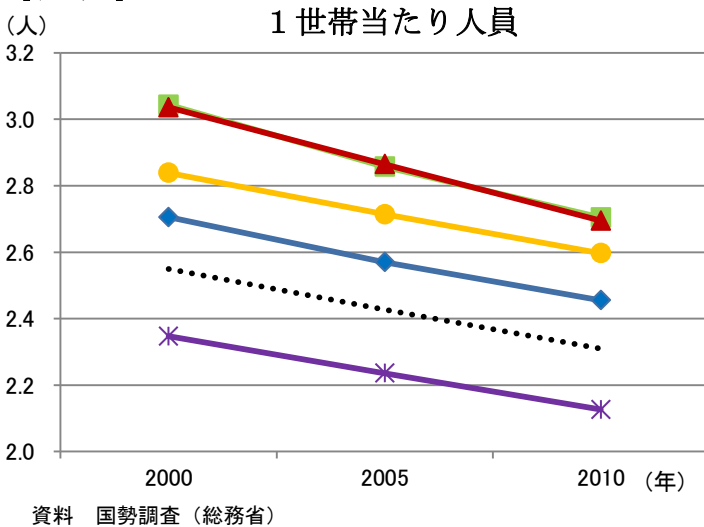
【データ1】



【データ2】



【データ3】



京都府の人口は、15年国勢調査(人口速報値)で、10年調査から始まった減少の傾向が強まった。

全国でも大正9年の調査開始以来初めて減少に転じた(-0.7%)。沖縄県、東京都など8都県で増加し、京都府をはじめ39道府県で減少した。

京都府 00年 2,644,391人
05年 2,647,660人
10年 2,636,092人
15年 2,610,140人(速報値)

地域別に00年人口と比較すると、
丹後地域 (82.9%)
中丹地域 (91.1%)
南丹地域 (91.3%)
京都市域 (100.0% [微増])
山城地域 (102.6%)

山城地域は、文化学術研究都市区域の市町で増加している。

京都府の高齢化率は、10年国勢調査で23.4%となり、急速に高齢化が進んでいる。(全国は23.0%)

地域別に見ると、

	(10年)	(05年)	(00年)
丹後地域	31.7%	28.9%	26.0%
中丹地域	27.5%	25.1%	23.0%
南丹地域	24.5%	21.3%	18.6%
京都市域	23.0%	20.1%	17.5%
山城地域	21.4%	17.2%	14.0%

北部地域では、人口減少と高齢化が同時に進んでいる。これらの地域では、18歳になると進学・就職などで地域を離れる傾向が強く、担い手不足や集落維持問題、中心市街地の衰退など、地域の社会経済全般にわたって様々な影響を与えている。

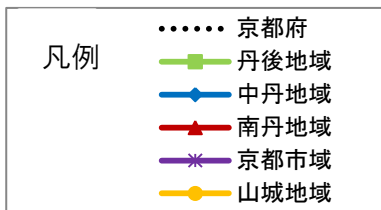
京都府を含め、全都道府県で世帯規模(1世帯当たり人員)が減少している。

全国 10年 2.42人
京都府 10年 2.31人
05年 2.43人
00年 2.55人

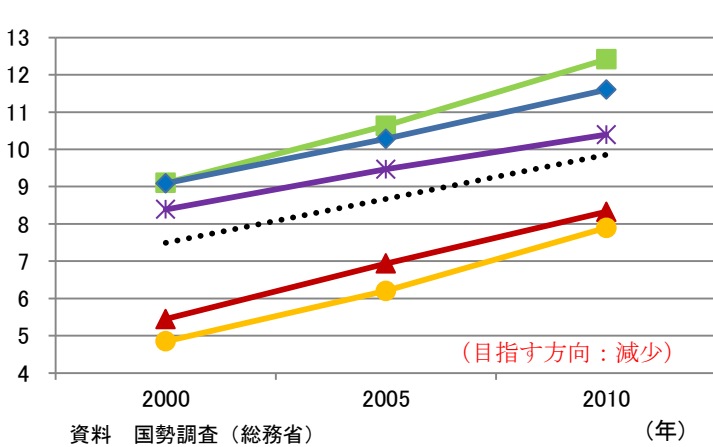
地域別に見ると、

	(10年)	(05年)	(00年)
丹後地域	2.70人	2.86人	3.04人
中丹地域	2.46人	2.57人	2.71人
南丹地域	2.69人	2.86人	3.04人
京都市域	2.13人	2.24人	2.35人
山城地域	2.60人	2.71人	2.84人

全ての地域で世帯規模の減少が続いているが、京都市域以外では、全国平均(2.42人)を上回っている。



[データ4] 高齢単身世帯割合



世帯規模の縮小に合わせて、一人暮らし高齢者（65歳以上の単身世帯）の割合が増加を続けている。

地域別に見ると、

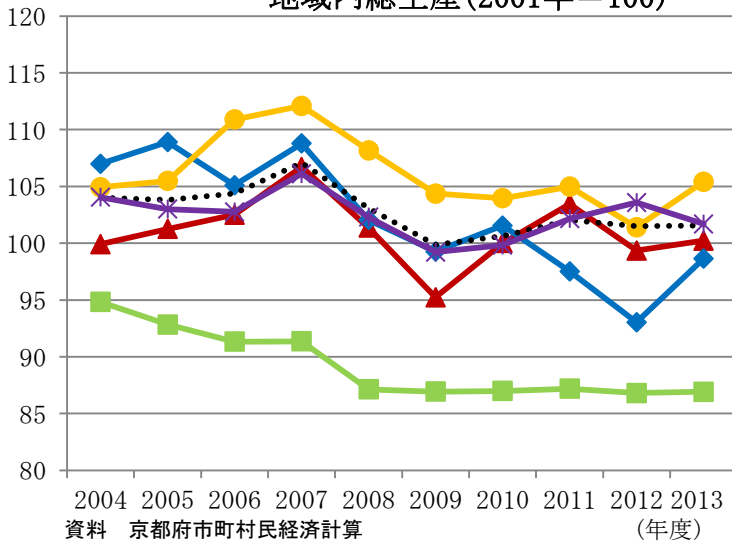
	(10年)	(05年)	(00年)
丹後地域	12.4%	10.6%	9.1%
中丹地域	11.6%	10.3%	9.1%
南丹地域	8.3%	6.9%	5.4%
京都市域	10.4%	9.5%	8.4%
山城地域	7.9%	6.2%	4.8%

老年人口比率が高い丹後・中丹地域のほか、1世帯当たり人員が最も低い京都市も、高齢単身世帯割合が高くなっている。

農山漁村地域では、他地域以上に過疎化と高齢化が進み、集落の維持が困難となっている集落も見られる。

[データ5]

地域内総生産(2001年=100)



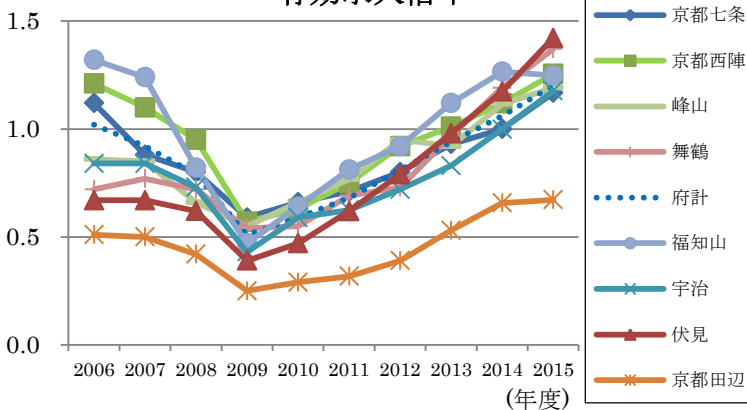
10年度は京都市域と南丹・中丹地域で、11年度は京都市域、山城・南丹地域でプラス成長を示すなど、京都府経済は08年のリーマンショックから回復しつつあったが、12年度は、製造業が減少したこと等により3年ぶりのマイナス成長となった。13年度は山城・南丹・中丹地域でプラス成長を示し、府全体でも弱いプラス成長となった。

丹後地域では、消費者の生活スタイルの多様化による和装需要の減少や近年の原油・原材料高等により、地域の基幹産業である織物業や機械金属業が大きく影響を受けて地域内総生産が、00年以降継続して低下しているが、08年以降は横ばいである。

中丹地域や南丹地域では、京阪神地域との近接性や交通網整備の進展、豊かな農産物等に着目したものづくり企業の立地・活動が進んでいる。

[データ6]

有効求人倍率



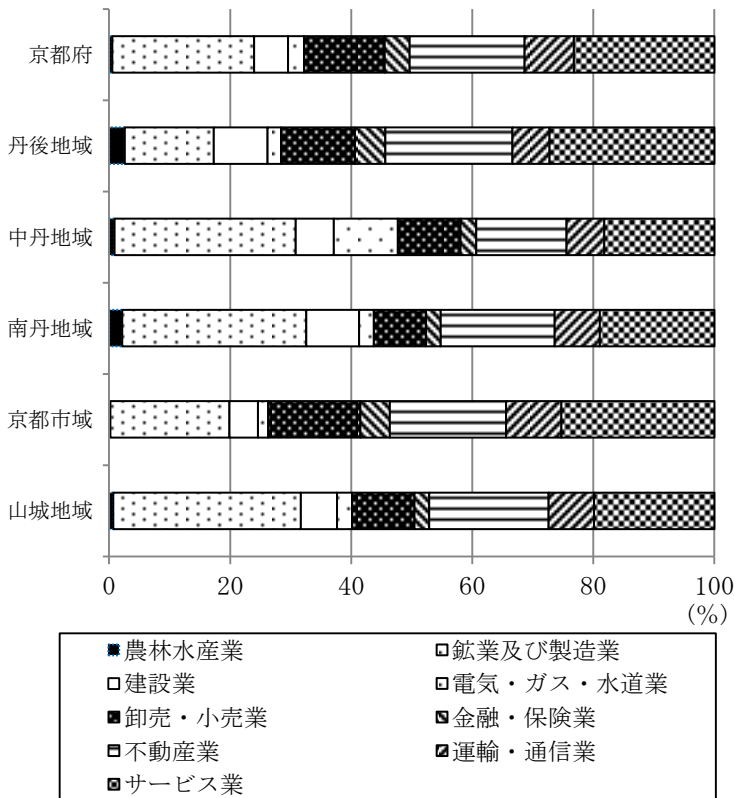
京都府全体の傾向として、06年度までは上昇していたが、07～09年度にかけては低下した（京都府計のピーク（06年）1.02）。

08年のリーマンショックの影響を受け、09年度は全地域で大幅に低下したが、京都府雇用創出・就業支援計画に基づく緊急雇用対策や、中小企業の緊急求人開拓などの取組効果もあり、10年度以降上昇が続き、15年度には1.20となるなど、改善が進んでいる。

資料:労働市場年報(ただし、2011年度分は、京都労働局発表資料「京都府内の雇用失業情勢」から京都府が算出)

[データ7]

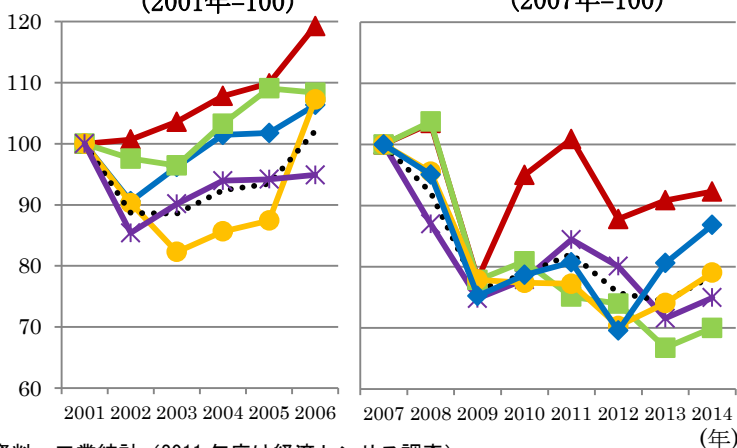
地域内総生産
(直近(2013年度)の産業構成比)



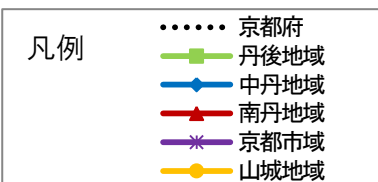
資料: 京都市町村民経済計算

[データ8]

製造品出荷額等
(従業員4人以上)
(2001年=100)



資料 工業統計 (2011年度は経済センサス調査)



京都府全体と比べ、地域別の特徴をみると、
<産業構成比>
丹後地域 農林水産業、建設業、サービス業
中丹地域 鉱業及び製造業、電気・ガス・水道業
南丹地域 農林水産業、鉱業及び製造業、建設業
京都市域 卸売・小売業、サービス業
山城地域 鉱業及び製造業、不動産業が高くなっている。

丹後地域は、農林水産業、織物、機械金属、観光が主要産業であるが、京阪神地域から約100km離れていることが、観光や産業振興を図る上での制約となっている。京都縦貫自動車道と舞鶴若狭自動車道の全線開通により地域のさらなる活性化が期待される。

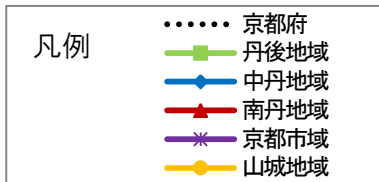
中丹地域は、北海道、北東アジアとの日本海側ゲートウェイとしての京都舞鶴港を擁し、京阪神地域との交通アクセスも向上するなか、長田野工業団地をはじめとした産業拠点も集積しており、関西北部・日本海側の中核的な地域となっている。京都縦貫自動車道と舞鶴若狭自動車道の全線開通により地域のさらなる活性化が期待される。

南丹地域は、京阪神地域との近接性や、優れた自然環境や豊かな農産物に着目した加工食品をはじめとしたものづくり企業の立地・活動が進んでいる。また、15年7月に京都縦貫自動車道が全線開通したことにより、地域のさらなる活性化が期待される。

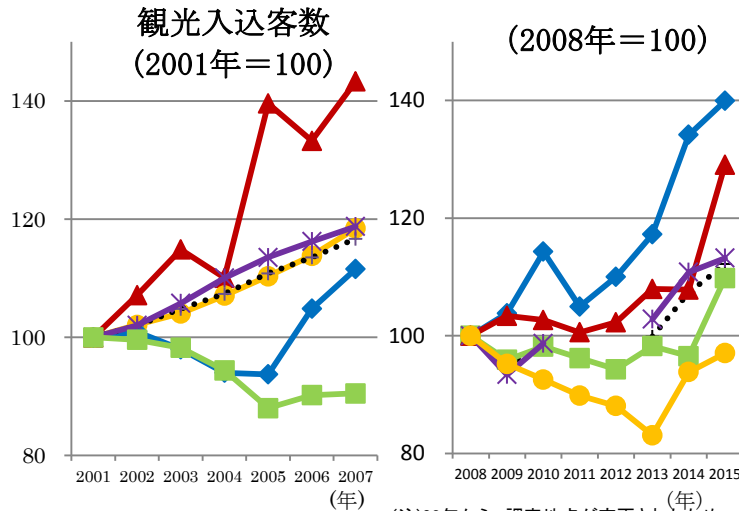
山城地域は、木津川左岸地域を中心に、交通網が整備され、ものづくり企業の集積、関西文化学術研究都市のクラスター群への研究施設立地などが進んでいる。今後、新名神高速道路の整備やJR奈良線の複線化などが進展することにより、観光や各種産業のさらなる活性化が期待される。

京都府全体の傾向として、01年のITバブル崩壊の影響により、02年は南丹以外の全ての地域で対前年比マイナスとなった。特に、山城地域と京都市域は、IT関連企業の立地が多いため大きな影響を受けた。山城・丹後地域は03年までその影響が及んだものの、両地域を含む全地域が06年まで増加傾向で推移した。なお、京都市域のみ、01年時点の水準まで回復しなかった。08年のリーマンショックや原油高の影響などで、繊維や金属、各種機械、電子部品など幅広く製造業の業績が悪化し、09年は全地域で大幅な減となったが、10年は山城地域以外の地域は増加に転じた。12年には、円高と原油などエネルギー価格の上昇により全地域で減少したが、13年には山城・中丹・南丹地域で増加に転じ、14年には全地域で増加した。

(注) 07年調査から、調査項目が変更されたため、06年までの実績値との比較ができない。また、11年は経済センサス調査の実施に伴い、工業統計調査は実施されていないため、経済センサス調査に基づいた数値を使用。



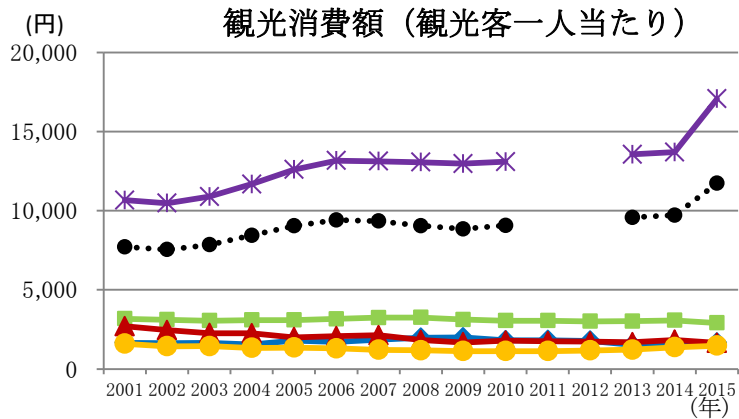
【データ9】



資料：京都府観光入込客数

(注)08年から、調査地点が変更されたため、07年までの実績値との比較ができない。

【データ10】



京都市域の入込客数増加や、地元市町村と連携した観光振興の取組、交通基盤整備の進捗等により、15年の府内における観光入込客数は8,748万人、観光消費額は1兆264億円といずれも過去最高となった。

京都市域では、米国旅行誌の読者投票において2年連続で人気都市世界1位に選ばれたことに加え、観光ビザの発給緩和、消費免税店の拡大などの要因が重なり、観光入込客数、観光消費額ともに過去最高を記録した。

山城地域では、天候不順等のマイナス要因があった一方で、「日本茶 800年の歴史散歩」の日本遺産登録、背割堤のメディア紹介等により、地域全体として入込客数は増加した。

南丹地域は、トロッコ列車が昨年に続き集客を伸ばしたことや、京丹波味夢の里のオープンもあり、前年比139.1%の入込客数となった。

中丹地域は、京都縦貫自動車道全線開通にあわせた「海の京都博」の開催等により複数の施設で入込客数が増加したことに加え、前年の豪雨災害からの復興により、地域全体として入込客数が増加した。

丹後地域は、京都縦貫自動車道全線開通や、「海の京都博」の開催、丹後王国「食のみやこ」のリニューアルオープンに加え、夏季シーズンの天候に恵まれたこともあり、前年比113.8%の入込客数となった。

(注)09年12月に観光庁が「観光入込客統計に関する共通基準(年間入込客数1万人以上の観光地点等実績から推計)」を導入したが、経年変化を把握する観点から従来法による調査結果を示した。なお、京都市域分の集計結果が未公表のため、京都市域・京都府(総計)の11・12年値は未計上。

